CARMATE
2037-70329D

安全にお使いいただくために
梱包内容の確認 各部の名称
チャイルドシートの取扱い方法
新生児プロテクターの取扱い方法
ベビースタイルでの使用方法
チャイルドスタイルでの使用方法
ジュニアスタイルでの使用方法
お手入れのしかた
保管・廃棄方法

エールベベ・ズット3スタイルCL/SL ずーっとロング

取扱説明書

適応体重　：2500g以上25kg以下
身長の目安：50cm以上120cm以下
年齢の目安：新生児～7才ごろ

本品は正しい使用および装着をしないと本来の性能を発揮できません。本書の内容を十分にご理解の上ご使用ください。記載内容にご不明な点がございましたら、当社サービスセンターにお問合わせください。

車との適合について

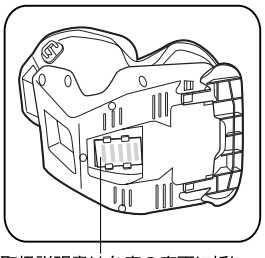
- **本品は必ずしも全ての車に取付けられるものではありません。**
  ご使用前に、店頭の車種別適合表、当社サービスセンターまたはホームページで確認してください。
  当社での適合が未確認の場合は、お手数ですが本書5～7ページの内容をご覧の上ご確認ください。

⚠警告　本品が入っているビニール袋は、開封後すぐにやぶり捨ててください。
お子さまがかぶられますと窒息等の事故に至る可能性があり大変危険です。

http://www.carmate.co.jp/

はじめに

このたびは、弊社チャイルドシートをお買い上げいただきましてありがとうございます。
本品を安全に正しくお使いいただくために、必ずご使用前に本書をよく読み、
内容を十分に理解していただきますようお願いします。
お読みになった後も、ご使用ごとに必要となりますので、台座裏側の収納場所に大切に保管してください。
また本品を譲られる場合は、以前に事故や破損がないことをご確認の上、次に使用される方のために本書および付属品も併せてお渡しください。
誤った取付け・使用による事故等の責任は一切負いかねますのでご了承ください。



取扱説明書は台座の底面に折りたたんで収納し保管してください。

本品は、車での衝突や急停車などによるお子さまの傷害を軽減することを目的とした年少者用補助乗車装置です。
必ずしもお子さまを無傷で守るものではありません、安全運転の心がけをお願い致します。

最重要ポイント

・車のシートベルトを必ず使用して固定する。
・お子さまは必ず本品のハーネスを使用する。（ジュニアスタイルでの使用時を除く）
・お子さまの体格にあった使用方法を守る。

目　次

1. 安全にお使いいただくために　4〜11
- 本書に記載する記号について …… 4
- 適応条件 …… 4
- 取付けできる座席 …… 5
- 取付けできるシートベルト …… 6
- 取付けできない座席・シートベルト …… 7
- 注意事項 …… 8〜9
- 緊急事態には …… 10
- 正しい持ち方 …… 10
- 取付け作業スペースの確保 …… 11

2. 梱包内容の確認/各部の名称　12〜15

3. チャイルドシートの操作方法　16〜17
- リクライニングの操作方法 …… 16
- ヘッドレストの操作方法 …… 17
- フットレストの操作方法 …… 17

4. 新生児プロテクターの取扱い方法　18〜21
- CLタイプの取付方法 …… 18〜20
- SLタイプ/ずーっとロングの取付方法 …… 21

5. ベビースタイルでの使用方法　22〜35
- 使用前の準備 …… 22〜26
- 適正な肩ハーネス通し穴の選びかた …… 22
- 肩ハーネス通し穴の変更方法 …… 23〜26
- 肩ハーネスハンガーが奥に入り込んでしまった時 …… 26
- 1.取付け前の準備 …… 27
- 2.シートベルトの取付け …… 28〜29
- 3.シートベルトの締め付け …… 30〜31
- 取付後の確認方法 …… 32
- お子さまの乗せかた …… 33〜35
- お子さまの降ろしかた …… 35

6. チャイルドスタイルでの使用方法　36〜50
- 使用前の準備 …… 36〜41
- 適正な肩ハーネス通し穴の選びかた …… 36
- 肩ハーネス通し穴の変更方法 …… 37〜41
- 肩ハーネスハンガーが奥に入り込んでしまった時 …… 41
- 1.取付け前の準備 …… 42
- 2.シートベルトの取付け …… 43〜44
- 3.シートベルトの締め付け …… 45〜46
- 取付後の確認方法 …… 47
- お子さまの乗せかた …… 48〜50
- お子さまの降ろしかた …… 50

7. ジュニアスタイルでの使用方法　51〜56
- 使用前の準備 …… 51〜53
- ハーネスの収納方法、肩ベルトガイドの準備 …… 51〜53
- 車に取付ける …… 54
- お子さまの乗せかた …… 55
- 取付後の確認方法 …… 56

8. お手入れのしかた　58〜62
- カバーの取外し …… 58〜59
- カバーの取付け …… 60〜61
- 洗濯のしかた …… 62

保管・廃棄方法　62

保証書　63

お問合わせ先　64

4 1. 安全にお使いいただくために

本書に記載する記号について

本書では、特に重要な事項や知っておいていただきたいことを、記号を用いて説明しております。それぞれの記号とその内容は下記のとおりです。

⚠警告	警告事項を守らないと、死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。
⚠注意	注意事項を守らないと、ケガを負ったり、物的損害が生ずるおそれがあります。
参考	本品を使用する上で、知っておいていただきたいことについて説明します。

適応条件

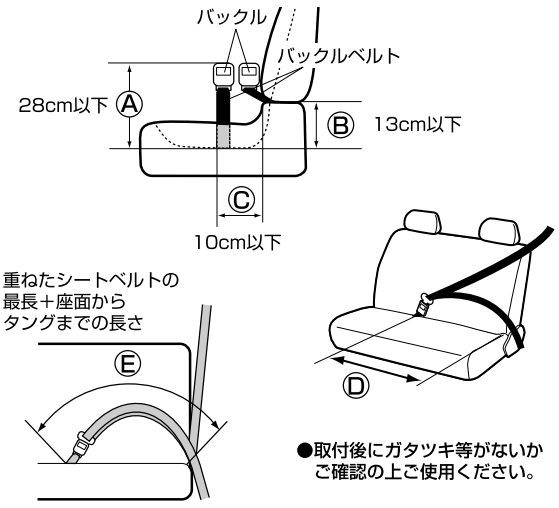
- ●適応体重　2500g以上25kg以下
- ●身長の目安　50cm以上120cm以下
- ●年齢の目安　新生児〜7才ごろ

適応体重	2500g以上 7kg未満	7kg以上 10kg未満	10kg以上 18kg以下	15kg以上 25kg以下
身長の目安	50cm以上 65cm未満	65cm以上 80cm未満	80cm以上 100cm未満	100cm以上 120cm以下
年齢の目安	新生児〜 6ヶ月ごろ	6ヶ月ごろ〜 1才ごろ	1才ごろ〜 4才ごろ	3才ごろ〜 7才ごろ
リクライニング	3段目	2段目または 3段目	1〜3段目	1〜3段目
取付状態	新生児 プロテクター使用	新生児プロテクターは使用しません。ただし、お子さまを座らせた状態で、肩ハーネスにたるみがある場合は、新生児プロテクターを使用してください。		
	後向き		前向き	
	ベビースタイル		チャイルドスタイル	ジュニアスタイル

取付けできる座席

●取付ける車の車種適合が確認できていない場合は、下記の表でご確認ください。
●座席の形状や仕様により、下記の寸法でも取付けできない場合があります。

寸法	下記のⒶ～Ⓔに該当するものが、おおむね取付け可能とされるものです。詳しくは店頭の車種別適合表をご覧ください。
Ⓐ	バックルを含めた長さが座面から28cm以下の座席。
Ⓑ	バックルベルトの出ている位置が座面から13cm以下の座席。
Ⓒ	バックルの位置が背もたれから10cm以下にある座席。
Ⓓ	シートベルトの間隔が35cm以上45cm未満の座席。
Ⓔ	シートベルトの長さが90cm以上の座席。



●取付後にガタツキ等がないか
ご確認の上ご使用ください。

1. 安全にお使いいただくために

取付けできるシートベルト

	シートベルトの種類	シートベルトの特徴	本品使用時の注意事項
3点式シートベルト	**ELR** （緊急時ロック式巻取装置）機能付 ※腰シートベルトにELR機能があるものは除く	自動で巻取られ、急ブレーキ、衝突時など急速に引かれるとロックされます。	取付け時には、シートベルトを急速に引かずゆっくりと引き出してから取付けをしてください。
	ALR/ELR （チャイルドシート固定）機能付	ELR機能の特徴に加え、ベルト巻取装置から全部引き出すとALR機能が働き必要な長さでシートベルトがロックされます。チャイルドシートの取付けの為に設計されたもの。	ALR機能を作動させて取付けを行うとシートベルトがロックしてしまうため取付けができなくなることがあります。
	ALR （自動ロック式巻取装置）機能付	シートベルトを引き出し、止めた位置でロックされます。	シートベルトを途中でロックさせないように全部引き出してから取付ける。
	NR （マニュアル）方式	長さを手動で調整して使用します。	取付け時に長さ調整が必要です。

取付けできない座席・シートベルト

⚠ 警告 警告事項を守らないと、死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。

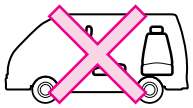
車の装備による場合

●エアバッグが装備されている座席

エアバッグが作動した際に、お子さまに強い力が加わって死亡や重傷に至る危険性があります。なお、エアバッグを無作動にできる場合は車の取扱説明書に従ってください。（サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの車には使用できます。）

●車の進行方向に対して横向きおよび後向きの座席

衝突の際に、お子さまが放出される危険性があります。

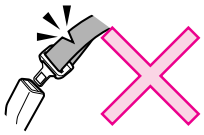


●片側スライドドアの入り口座席

後部座席に同乗者がいる場合、事故などの緊急事態に後部座席の人が脱出できないおそれがあります。

●シートベルトに損傷がある座席

事故等の際に、本品ごとお子さまが投げ出されるおそれがあります。損傷がある場合は、自動車ディーラー等で点検してください。



●座席形状および取付位置による場合

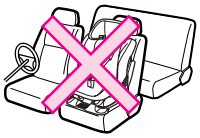
●補助座席および幼児専用座席

●スポーツシート等凹凸が極端な座席

●座席以外のピラーやドア等の車両構造物に本品が接触する座席

座席およびシートベルトの種類による場合

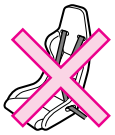
●助手席



●2点式シートベルトの座席

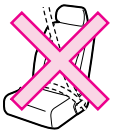
●市販のスポーツタイプシート、又はスポーツタイプシートベルトが装着されている座席

本品が安定しません。



●シートベルトがついていない座席。

本品が使用できません。



●パッシブシートベルト（ドアを閉めると自動的に装着されるシートベルト）

●腰シートベルトにELR（緊急ロック式ベルト巻取装置）があるもの。

●その他のシートベルト

6ページ「取付けできるシートベルト」に記載されていないシートベルト。

⚠ 注意

●本革シートの座席

本品を使用すると取付け跡が残る場合があります。

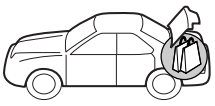
8 1. 安全にお使いいただくために

注意事項 取扱上守るべき重要な注意ですので必ずお読みください。

⚠ 警告 警告事項を守らないと、死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。

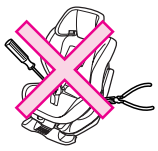
●お子さまが乗っていないときでも必ず車のシートベルトで本品を固定してください。急ブレーキなどで本品が車内を転がり、事故につながるおそれがあります。

●衝突の際に傷害を与える可能性のある荷物などは適切に固定するか、トランク内に収納するようにしてください。



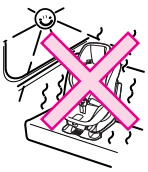
●事故や落下により本品が強い衝撃を受けた場合は、本品の使用をおやめください。外観上破損が見えなくても強度が下がっている場合があります。油性ペンで本品に「廃棄」「事故品」等を明記のうえ廃棄してください。

●本品を改造しての使用、または本書に記載されていない取付けや使用をしないでください。本品の性能が十分に発揮できない場合があります。

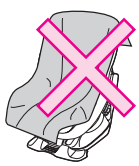


●本品は必ず車のシートベルトで固定してお使いください。シートベルト以外で固定すると本品が脱落したり、衝突の際に本品ごとお子さまが投げ出されて危険です。市販のベルトやロープ等は、使用しないでください。

●本品を直射日光にさらさないでください。金属部や樹脂部が熱くなり、やけどをするおそれがあるので熱くないことを確認してからご使用ください。



●本品のカバー・クッションをはずしての使用、または当社指定以外のカバーを取付けるなど付加しての使用はおやめください。



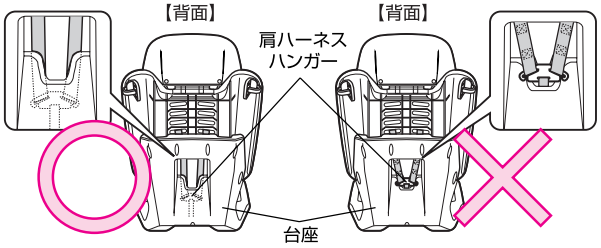
●本品の取付確認後に取付座席をスライドまたはリクライニングはしないでください。シートベルトがゆるむことがあります。

●お子さまが車内にいるときは、必ず保護者の方が付き添ってください。決してお子さまを車内に置き去りにしないでください。特に夏場は車内が高温になり大変危険です。

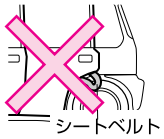
●本品にお子さまを乗せたまま持運ばないでください。持運ぶ際に不安定になり落下のおそれがあります。（本品単体の正しい持ち方 P10）

⚠ 注意

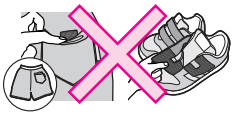
●ベビースタイル、チャイルドスタイルでご使用の際は、ご使用前に背面の肩ハーネスハンガーが本体台座の内側に入っていることを必ずご確認ください。



●本品の取付けや使用の際に本品の一部、又は、シートベルト等をドアまたは座席の間に挟まないようにしてください。



●お子さまの靴や衣服の面ファスナーが本品のカバーに触れる（引っかかる）と生地が傷むおそれがあります。



参考

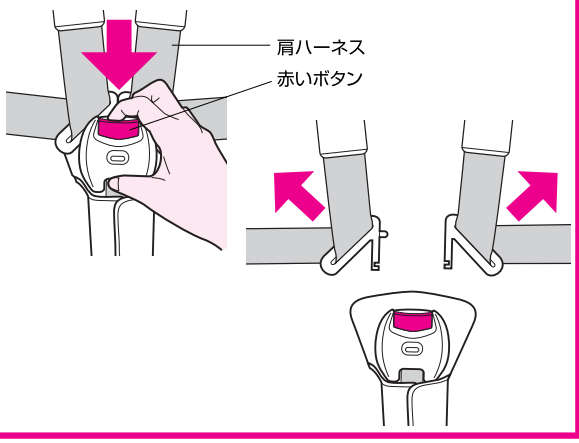
●お子さまの負担を考えて、1時間程度ごとに休憩をとりましょう。長時間同じ姿勢でいると、ぐずる要因になります。

1. 安全にお使いいただくために

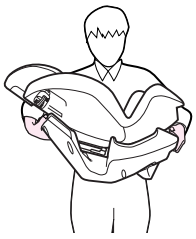
注意事項　取扱上守るべき重要な注意ですので必ずお読みください。

緊急事態には

事故などの緊急事態には、バックルの赤いボタンを下に押して肩ハーネスをお子さまの腕から外し、すみやかに安全な場所へ避難してください。
ジュニアスタイルでのご使用の際は、お子さまを拘束している車のシートベルトを外し、すみやかに安全な場所へ避難してください。



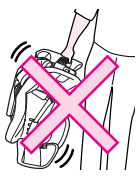
正しい持ち方



⚠ 注意

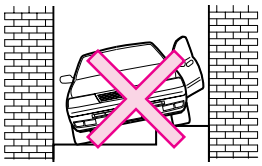
●本品を持運びの際は、リクライニングレバー、ベルトガイドに手をかけないでください。

●ヘッドレスト、フットレストだけを持っての持ち運びはしないでください。

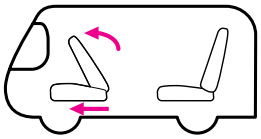


取付け作業スペースの確保

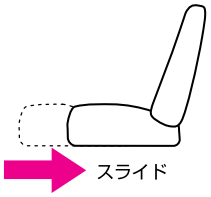
1 取付け作業は本品の持ち運びができ、ドアの全開閉が可能な、広く平らな場所で行ってください。



2 取付け作業は、前席をたおしたり、スライドさせて、できるだけ車内の作業スペースを確保してください。



3 取付座席にスライド機能がある場合は、後ろにスライドさせてください。

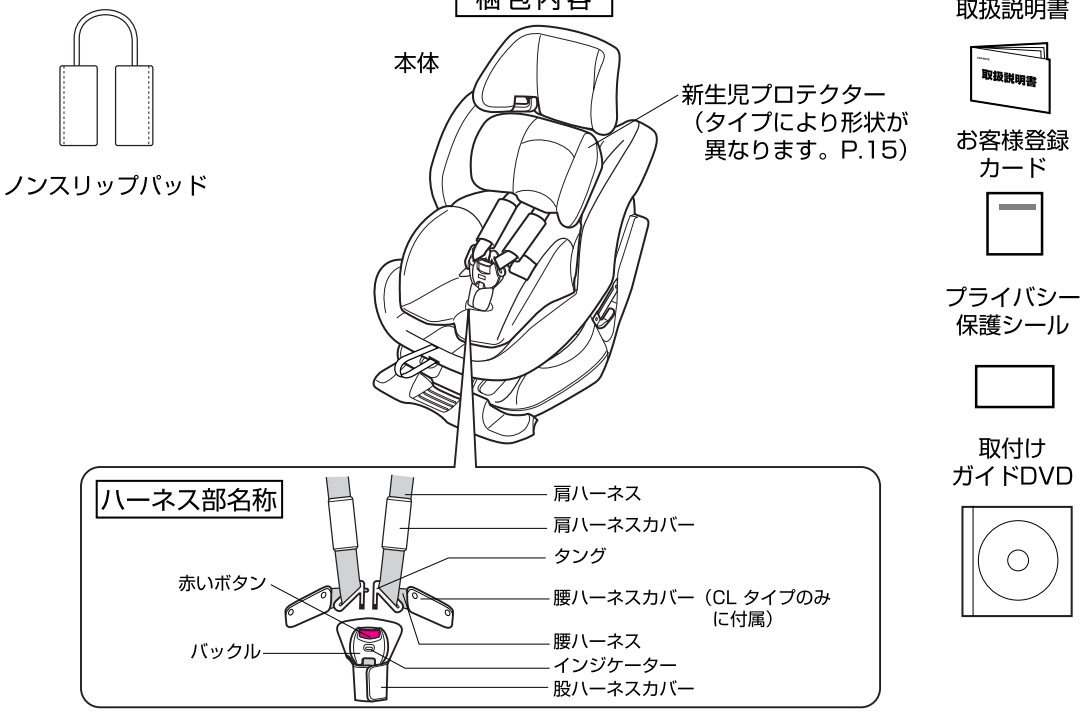


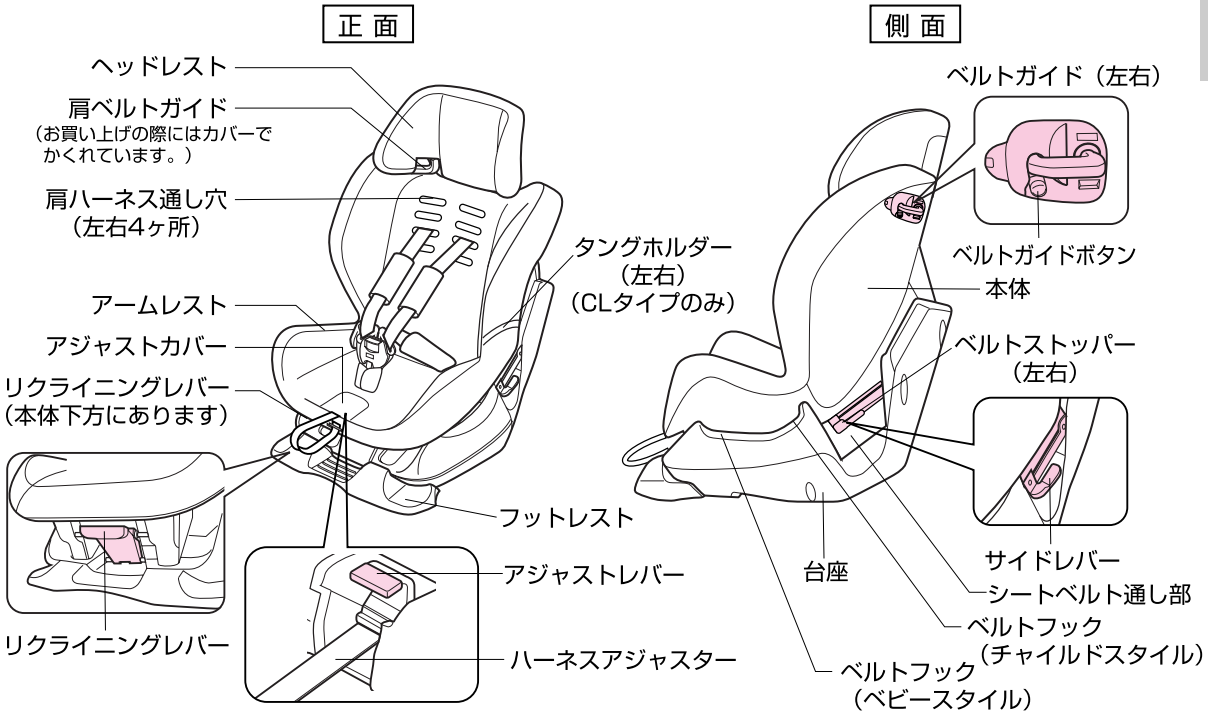
⚠注意

取付後はスライドを動かさないでください。

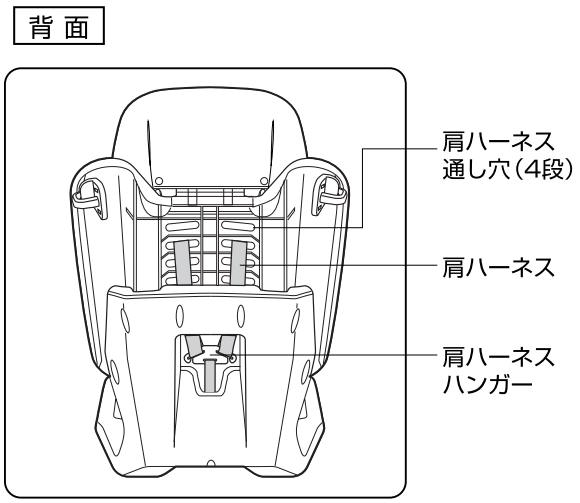
⑫ 2. 梱包内容の確認/各部の名称

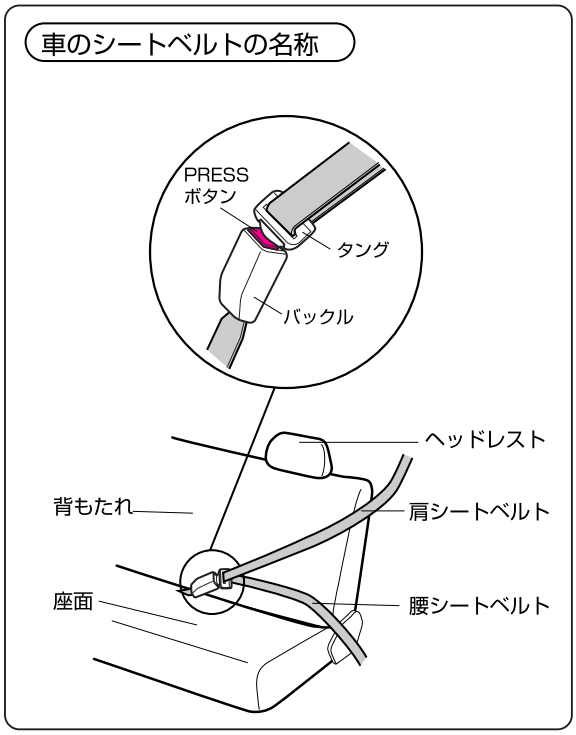
はじめに梱包内容を確認して、万一不足部品がありましたら本書記載のサービスセンターへご連絡ください。





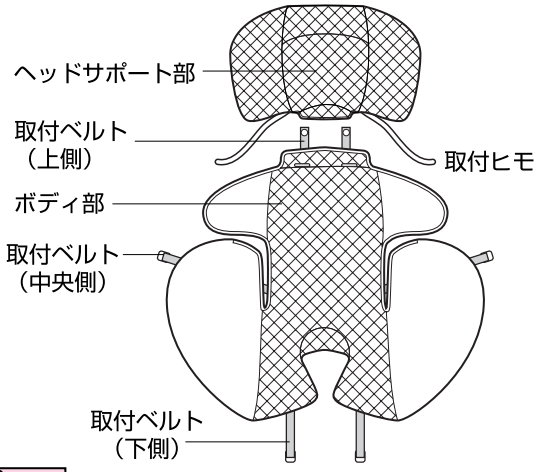
⑭ 2. 梱包内容の確認/各部の名称



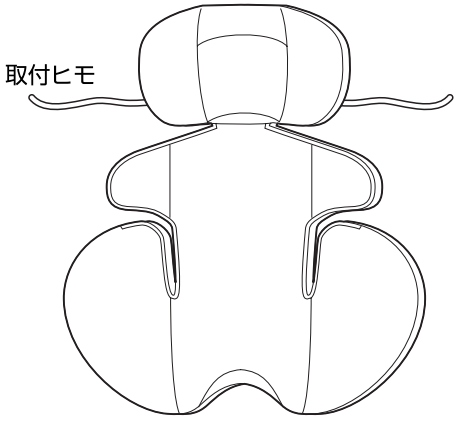


新生児プロテクター

CLタイプ



SLタイプ/ずーっとロング



⚠警告

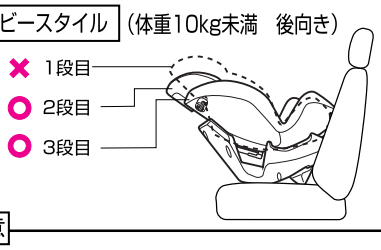
●お子さまの体重が２５００ｇ以上７ｋｇ未満の場合には、必ず新生児プロテクターを使用してください。
●お子さまの体重が７ｋｇ以上１０ｋｇ未満の場合でも、お子さまをシートに座らせた時に肩ハーネスにたるみがある場合には、新生児プロテクターを使用してください。

3. チャイルドシートの操作方法

リクライニングの操作方法

本品は **3 段階のリクライニング**ができます。後向きでご使用の際は体重に合わせて2段目または3段目でご使用できます。（リクライニング使用位置表→P.27）

ベビースタイル（体重10kg未満　後向き）

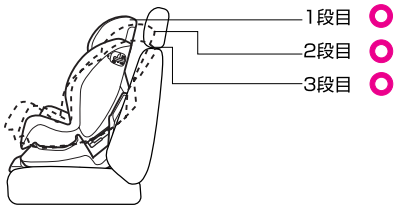


⚠注意

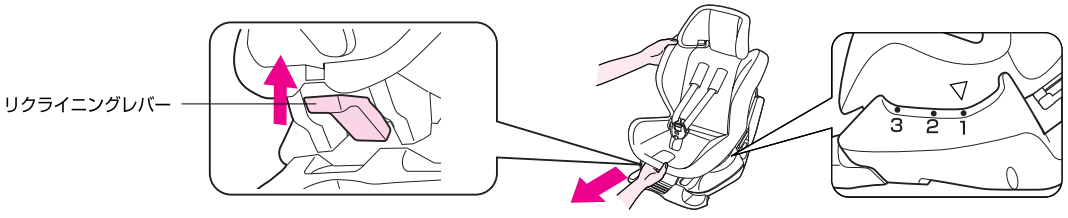
お子さまの体重が10kg未満でリクライニングを1段目にすると、
お子さまの快適性が損なわれます。
2段目または3段目でご使用ください。

チャイルド・ジュニアスタイル

（体重10kg以上　前向き）



片手で本体を押さえながらリクライニングレバーを上に上げ両手でシートを前後にリクライニングさせる。

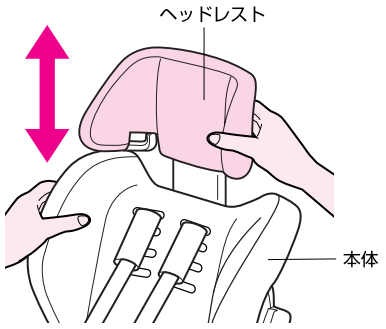


参考

リクライニング位置により本体が車の座席に干渉することがありますが、機能上の問題はありません。

ヘッドレストの操作方法

片手で本体を押さえながらヘッドレストを上下に動かす。



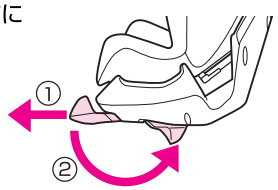
⚠注意

ヘッドレストを動かす際ヘッドレストと本体の間に指をはさまないよう注意してください。

フットレストの操作方法

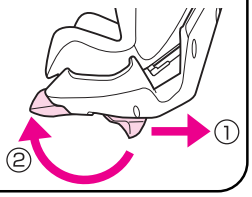
後ろにする方法

① フットレストを手前に引く。
② 引きながら、後ろに回転させる。



前にする方法

① フットレストを奥に引く。
② 引きながら、前に回転させる。



⚠注意

フットレストを動かす際フットレストと台座の間に指をはさまないよう注意してください。

18 4. 新生児プロテクターの取扱い方法

新生児プロテクターはお子さまの体重が7kg未満の場合にお使いください。お子さまの成長には個人差がありますので新生児プロテクターから頭がはみだしたり、幅が狭くなってきた場合は取外してください。

⚠警告

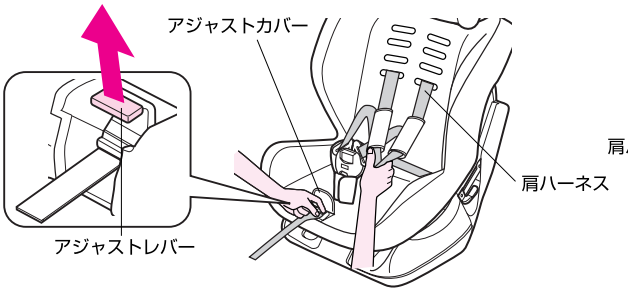
お子さまの体重が7kg以上の場合でも、お子さまを座らせた状態で肩ハーネスにたるみがある場合には、新生児プロテクターを使用してください。

参考

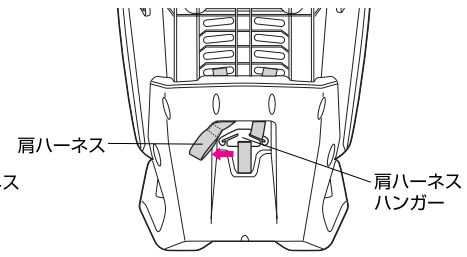
リクライニングを1段目にすると着脱作業がしやすくなります。

CLタイプの取付方法

1 アジャストカバーをめくり、アジャストレバーを上げながら肩ハーネスをひっぱり、肩ハーネスをいっぱいまでゆるめる。

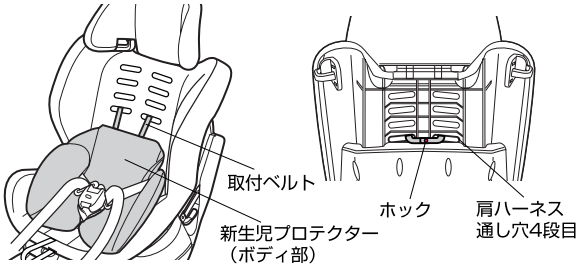


2 本体を裏側に向け、肩ハーネスを肩ハーネスハンガーから外す。

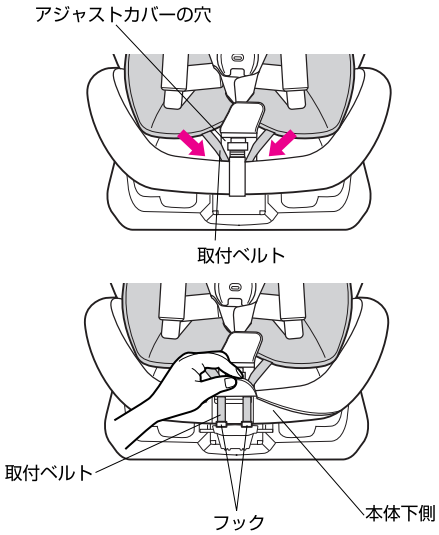


3 新生児プロテクター（ボディ部）の取付ベルトを各々以下のように取付ける。

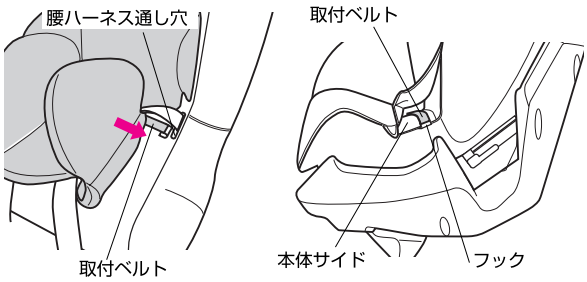
上側の取付ベルトを4段目の肩ハーネス通し穴に通し、本体裏側でホックでとめる。



下側の取付ベルトをアジャストカバーの穴に通し、カバー内側から引き出して本体下側（樹脂部）にかける。



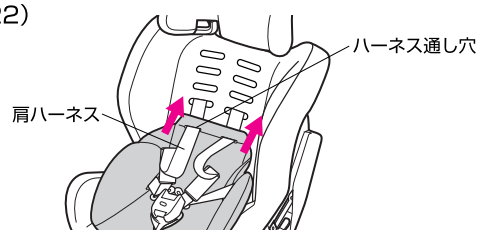
中央の取付ベルトを腰ハーネス通し穴に通し、カバー内側から引き出して本体サイド（樹脂部）にかける。



4. 新生児プロテクターの取扱い方法

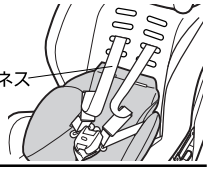
CLタイプの取付方法

4 肩ハーネスを新生児プロテクター（ボディ部）のハーネス通し穴に通し、適正位置に調節された肩ハーネス通し穴に通す。（適正な肩ハーネス通し穴の選び方 →P.22）

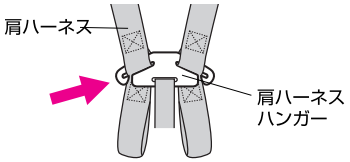


⚠注意

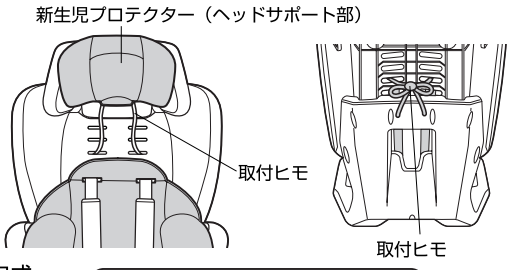
肩ハーネスを3段目で使用する場合は、新生児プロテクター（ボディ部）のハーネス通し穴へは通しません。



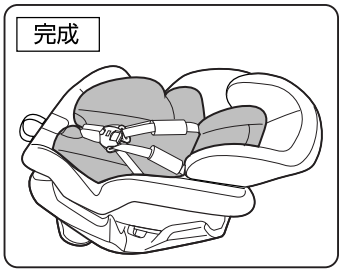
5 肩ハーネスハンガーに肩ハーネスをかける。



6 新生児プロテクター（ヘッドサポート部）の取付ヒモを肩ハーネスを通した穴の一段上の穴に通し、裏側で結ぶ。



7 完成

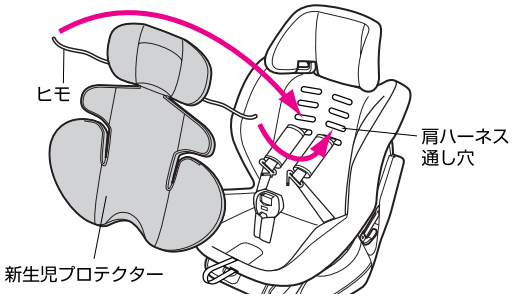


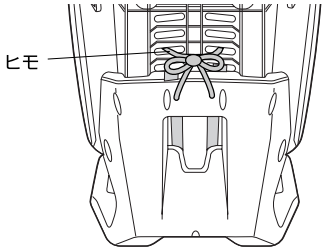
⚠注意

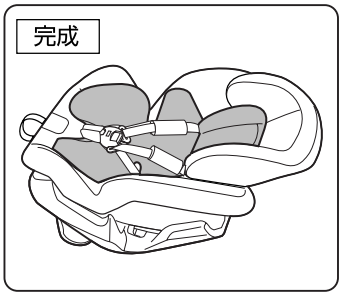
取付ベルトのフックは本体へ確実に引っかけてください。

SLタイプ/ずーっとロングの取付方法

1 新生児プロテクターに付いているヒモを、適正位置に調節された肩ハーネス通し穴の一段上に通し、シート背面で結ぶ。(適正な肩ハーネス通し穴の選び方→P.22)







22 5. ベビースタイルでの使用方法

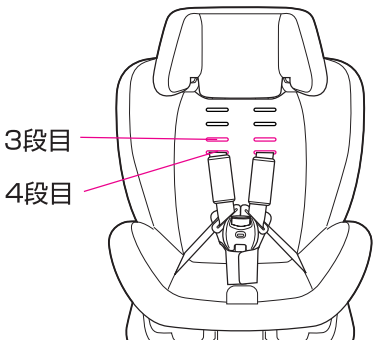
使用前の準備

適正な肩ハーネス通し穴の選びかた

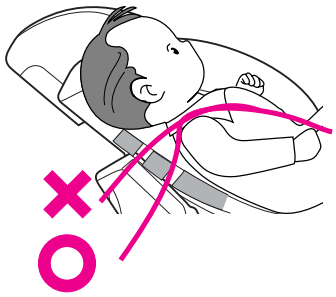
参考 お買い上げの際には新生児に合う位置（4段目）に設定されています。（そのままの状態でご使用される場合はP.27へ）

本品はお子さまの成長に応じて、使用する肩ハーネス通し穴の位置を変えて使用します。本品を車へ取付ける前にお子さまの体格に合った肩ハーネス通し穴に調節してください。

ベビースタイル (体重10kg未満　後向き取付け)



3段目
4段目
の2つのどちらかを使用



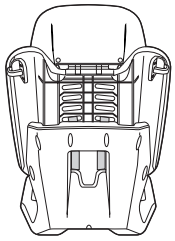
ベビースタイルではお子さまの肩より下の位置の肩ハーネス通し穴に肩ハーネスを通します。

警告

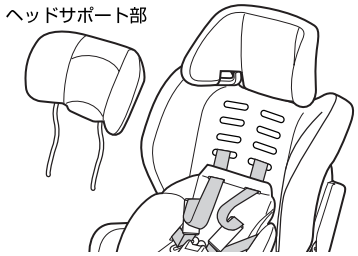
●肩ハーネス通し穴は、必ずお子さまの体格に合わせて調節してください。誤った位置でのご使用は事故などの際、十分な効果を発揮せず、大変危険です。

肩ハーネス通し穴の変更方法　※イラストはCLタイプです。

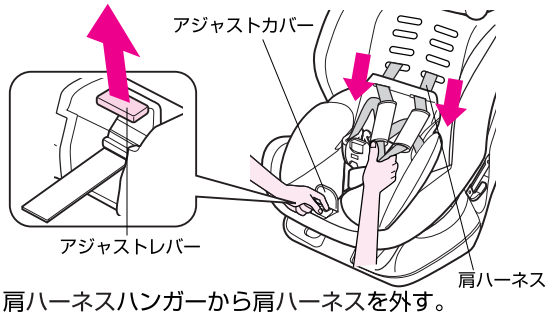
1 リクライニングを1段目にし、本体の背面が見えるようにする。（リクライニングの操作方法→P.16）



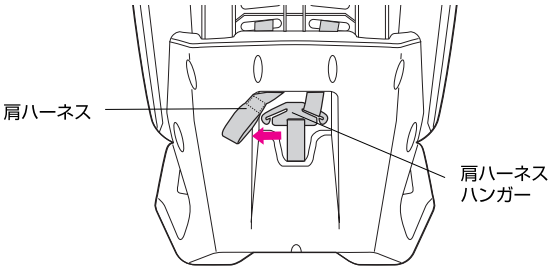
2 新生児プロテクターのヘッドサポート部を取外す。
※SLタイプ/ずーっとロングの場合は新生児プロテクターを全て取外す。



3 アジャストカバーをめくり、アジャストレバーを上げながら肩ハーネスをいっぱいまでゆるめる。



4 肩ハーネスハンガーから肩ハーネスを外す。

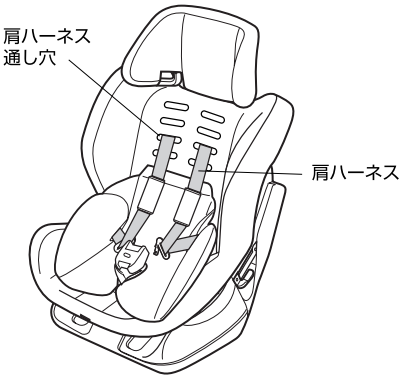


5. ベビースタイルでの使用方法

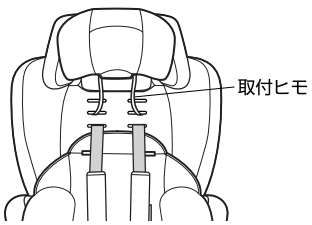
使用前の準備

肩ハーネス通し穴の変更方法

5 シート正面から肩ハーネスを引き抜き3段目の肩ハーネス通し穴に肩ハーネスを通す。
（適正な肩ハーネス通し穴の選び方→P.22）
（新生児プロテクターの取扱い方法→P.18）



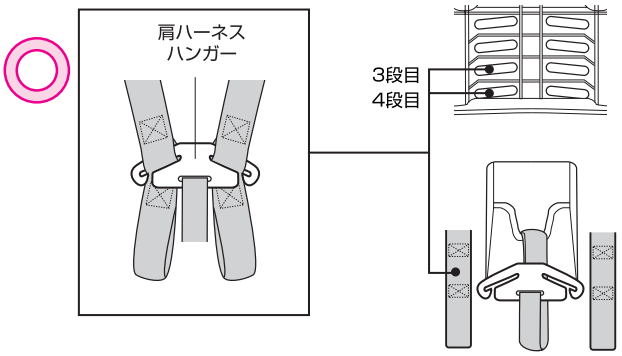
6 新生児プロテクターのヘッドサポート部を肩ハーネスを通した穴の一段上の穴に通し取付ける。
※SLタイプ/ずーっとロングの場合は新生児プロテクターを全て取付ける。
（新生児プロテクターの取扱い方法→P.18）



7 肩ハーネスハンガーに肩ハーネスをかける。
肩ハーネス通し穴と肩ハーネスの取付位置は図のようになります。

ベビースタイル

（体重10kg未満　後向き）



⚠警告

- 肩ハーネスは肩ハーネスハンガーの切り込みが見えるように正しくかけてください。正しくかけないと、肩ハーネスが外れるおそれがあります。
- 肩ハーネスが半がかりにならないようにしてください。

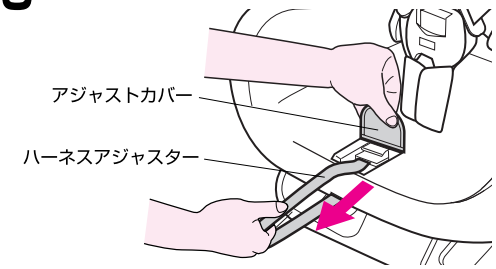
- 肩ハーネスにねじれがないようにしてください。
- 肩ハーネスハンガーは必ず台座の内側に収納してください。

5. ベビースタイルでの使用方法

使用前の準備

肩ハーネス通し穴の変更方法

8 アジャストカバーをめくり、ハーネスアジャスターを引き、ハーネスのたるみを取る。

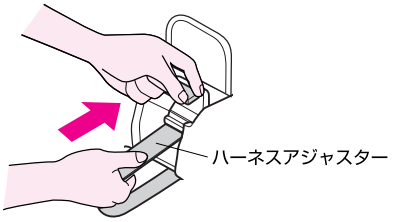


参考

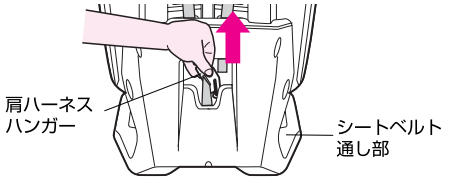
肩ハーネスハンガーに肩ハーネスをかけない状態でハーネスアジャスターを引かないでください。肩ハーネスハンガーが奥に入り込んでしまいます。

肩ハーネスハンガーが奥に入り込んでしまった時

1 アジャストレバーを上げたまま、ハーネスアジャスターを手で少しずつ中に送り込みます。



2 シート背面から手を入れ肩ハーネスハンガーを引き出します。

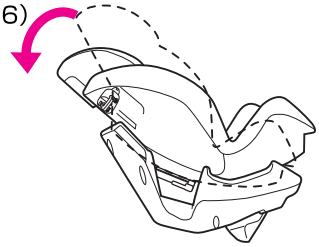


参考

シートベルト通し部から手を入れて引き出す方法もあります。

1.取付け前の準備

1 本体のリクライニングをお子さまの体重に合わせ、2段目または3段目にする。リクライニング位置は台座横の目盛でご確認ください。（リクライニングの操作方法→P.16）

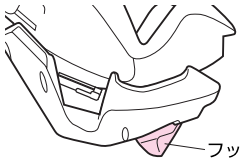


リクライニング使用位置表

リクライニング段数	お子さまの体重	
	2500g以上7kg未満	7kg以上10kg未満
1段目	×	×
2段目	×	○
3段目	○	○

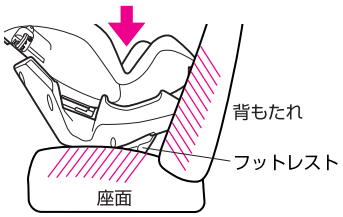
参考 お子さまの体重と首が据ったかどうかを目安にリクライニング段数を変更してください。

2 フットレストを後ろにします。（→P.17参照）



注意
フットレストを動かす際フットレストと台座の間に指をはさまないよう注意してください。

3 車の座席に後向きの状態で置き、本体を座席に押しつけ、車の座席の背もたれと座面に接するようにする。

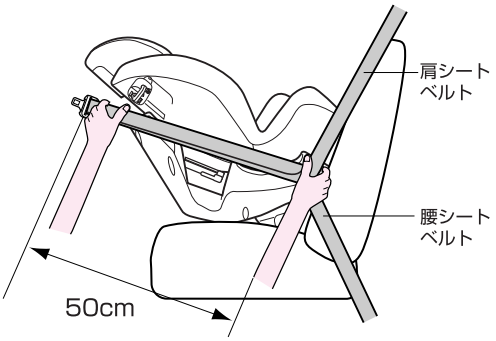


注意
フットレストが必ず座面に接するように置いてください。

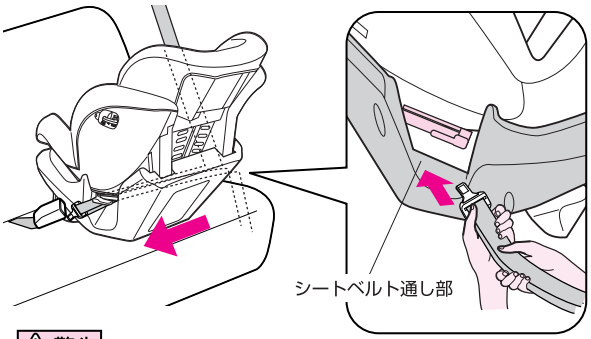
5. ベビースタイルでの使用方法

2.シートベルトの取付け

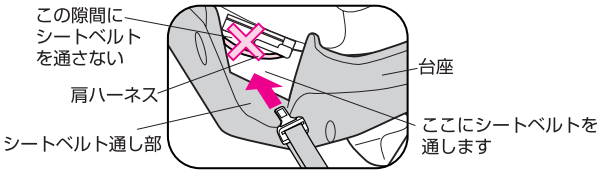
4 取付ける座席のシートベルトを引き出し、腰シートベルトと肩シートベルトを50cm程度重ね合わせる。



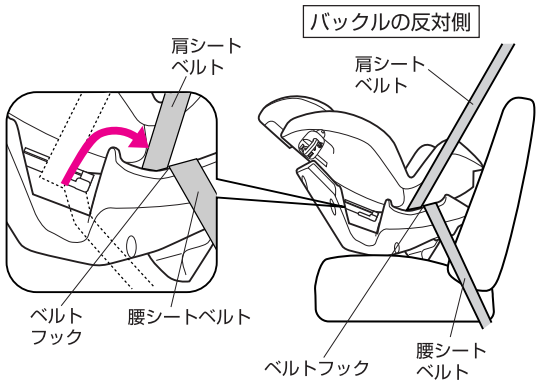
5 重ね合わせたシートベルトをシートベルト通し部に通し、反対側へ引き出す。



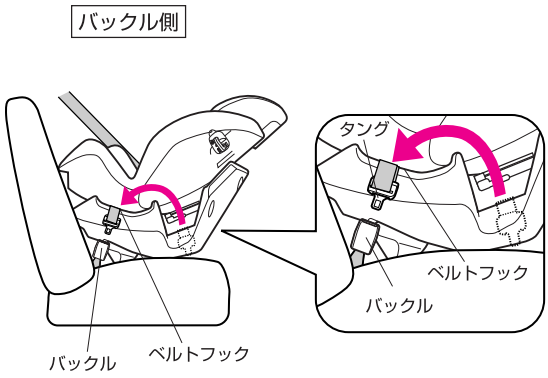
警告
シートベルト通し部の中の肩ハーネスがたるんでいる場合は、ハーネスアジャスターをいっぱいまで引っ張ってください。肩ハーネスがたるんだ状態でシートベルト通し部にシートベルトを通すと通しづらく、誤った通し方をしてしまう可能性があります。



6 バックルの反対側の肩シートベルトと腰シートベルトの両方をベルトフックにかける。



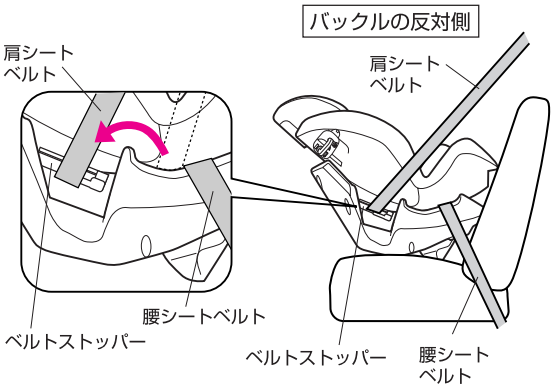
7 バックル側へ引き出したシートベルトをベルトフックにかける。その後タングをバックルに「カチッ」と音がするまで確実に差し込む。



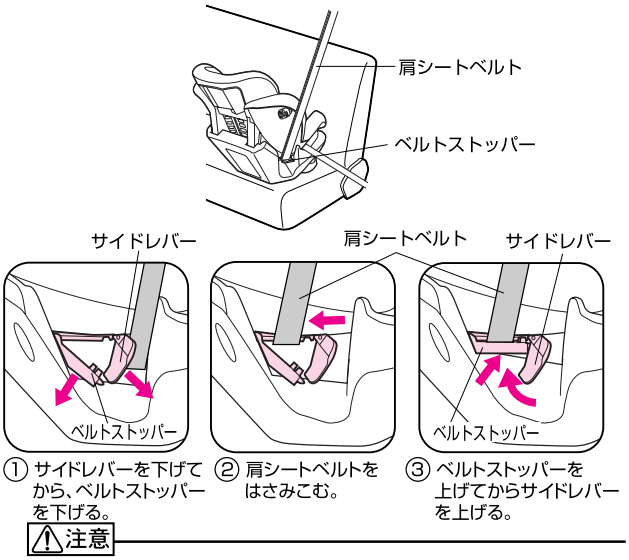
30 5. ベビースタイルでの使用方法

3.シートベルトの締め付け

8 バックルと反対側の肩シートベルトのみをベルトストッパーの方へずらす。



9 肩シートベルトを下図の ① から ③ のようにベルトストッパーに挟み、サイドレバーをしっかりと上げる。

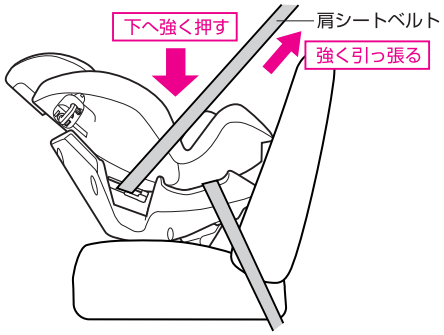


① サイドレバーを下げてから、ベルトストッパーを下げる。
② 肩シートベルトをはさみこむ。
③ ベルトストッパーを上げてからサイドレバーを上げる。

⚠注意

- バックル側のベルトストッパーは使用しないでください。
- サイドレバーにシートベルトを引っ掛けないでください。
- サイドレバーを確実にロックしてください。

10 チャイルドシート座面部を下へ強く押し付けながらシートベルトのたるみやゆるみがなくなるまで、肩シートベルトを強く引っ張る。

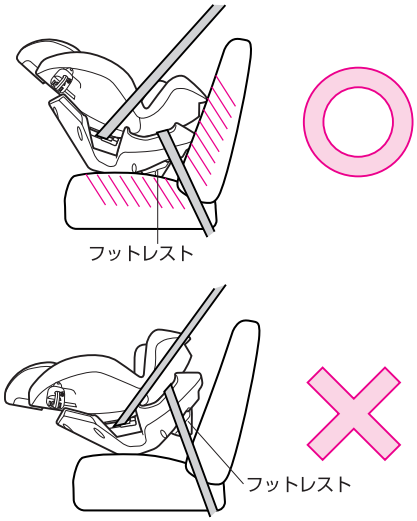


⚠警告

- 肩シートベルトはねじれのないように、ベルトストッパーにしっかりとはさみ込んでください。
- 車へ取付けた後、本体のリクライニングを変更する場合には、シートベルトを一度外し、最初から取付け直してください。

⚠注意

チャイルドシート本体が下図のようにしっかりと車の座席に接していることを確認してください。

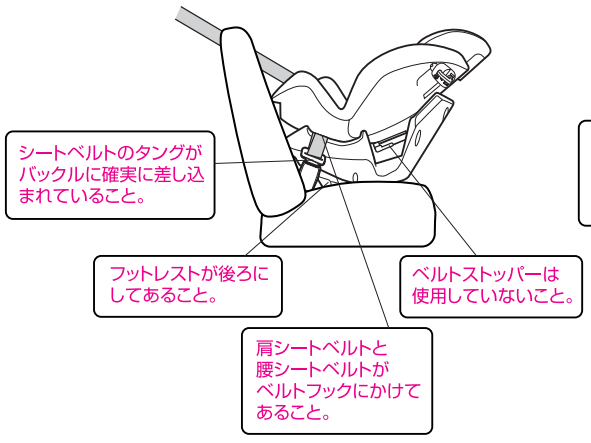


5. ベビースタイルでの使用方法

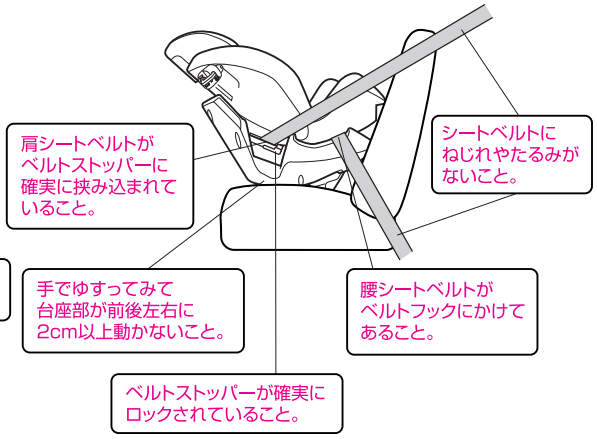
取付後の確認方法

※完成図を見ながら各項目を必ず確認してください。

シートベルトのバックル側から見た時の完成図



反対側の完成図



参考

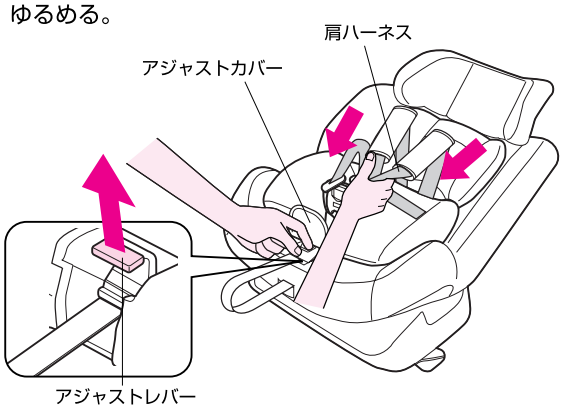
- 完成図のように取付けられていない場合は、初めから取付け直してください。
- イラストは後席左側に取付けをしたものです。

お子さまの乗せかた

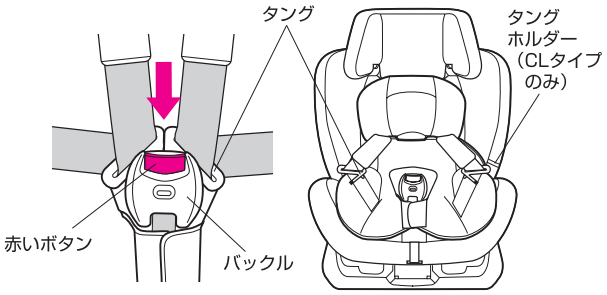
新生児（生後1ヶ月以内）に使用する場合は特に次の事柄をお守りください。

・体重が2500g未満の新生児には使用できません。
・チャイルドシートにお子さまを乗せている間は必ず同乗者がお子さまから目をはなさないようにしてください。
・肩ハーネスの位置および肩ハーネスの長さを確認してください。（→P.22）
・肩ハーネスが正しく肩にかかっていることを確認してください。
・新生児プロテクターが正しく装着されているか確認してください。（→P.18～21）
・お子さまの負担を考えて1時間程度ごとに休けいをおとりください。

1 アジャストレバーを上げながら肩ハーネスを引っぱりゆるめる。



2 バックルの赤いボタンを下に押し、タングを外す。



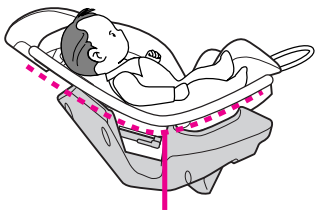
参考

はずしたタングは両サイドにあるタングホルダーにかけておくと、お子さまの乗せ降ろしが楽になります。（CLタイプのみ）

5. ベビースタイルでの使用方法

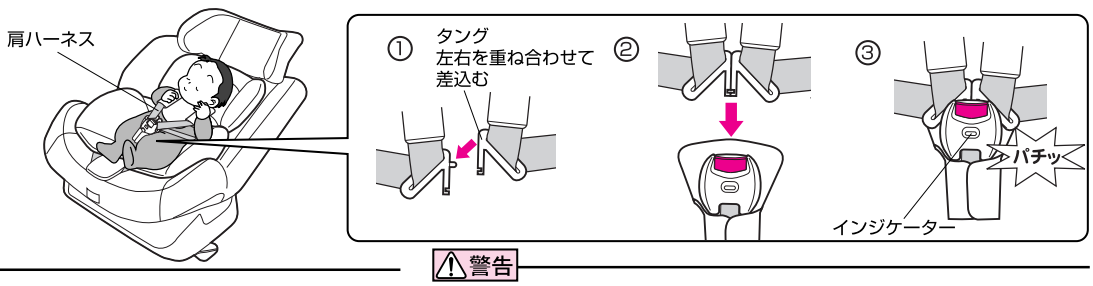
お子さまの乗せかた

3 お子さまを適正な位置に乗せる。



1番深い位置におしりがくるように
お子さまを乗せてください。

4 お子さまをシートに座らせて腕を肩ハーネスに通し、左右のタングを合わせバックルに差込む。
インジケーターが緑になっていることを確認する。



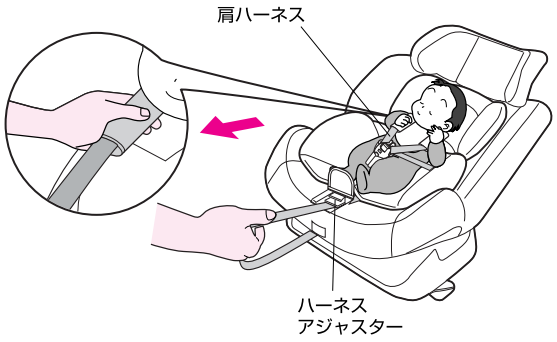
参考

タングをかさね合わせないと、バックルに差込めません。

警告

バックルに異物が入らないように注意してください。入ってしまった場合には、そのまま使用せず本書記載のサービスセンターにお問い合わせください。
（預かり修理扱いとなります。）

5 お子さまの胸部と肩ハーネスの隙間に大人の指が1～2本入る程度にハーネスアジャスターを引く。

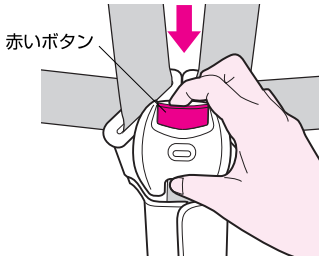


⚠警告

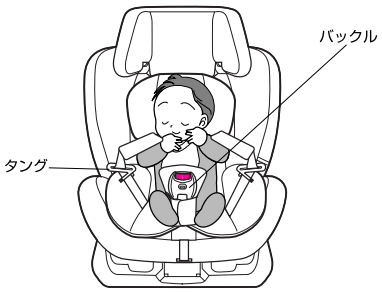
- 肩ハーネスにねじれやたるみがないか、腰ハーネスは骨盤がしっかり拘束されているか確認してください。
- タングがバックルに差込まれてロックされているか確認してください。

お子さまの降ろしかた

1 バックルの赤いボタンを下に押し、タングをバックルから外す。



2 チャイルドシートのハーネスをお子さまの腕から外し、お子さまを降ろします。



36 6. チャイルドスタイルでの使用方法

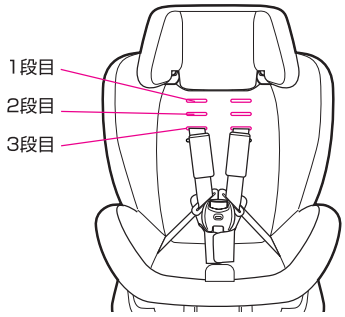
使用前の準備

適正な肩ハーネス通し穴の選びかた

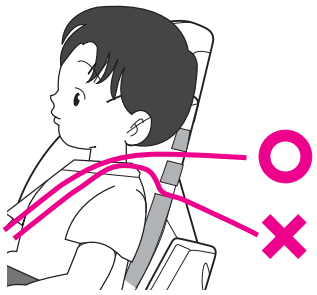
参考 お買い上げの際には新生児に合う位置（4段目）に設定されています。

本品はお子さまの成長に応じて、使用する肩ハーネス通し穴の位置を変えて使用します。本品を車へ取付ける前にお子さまの体格に合った肩ハーネス通し穴に調節してください。

チャイルドスタイル（体重10kg以上　前向き）



1段目
2段目 の3つのいずれかを使用
3段目



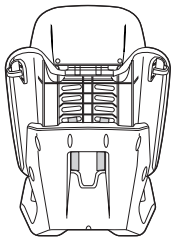
チャイルドスタイルではお子さまの肩より上の位置の肩ハーネス通し穴に肩ハーネスを通します。

⚠警告

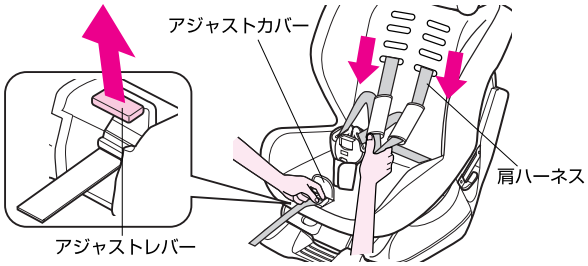
肩ハーネス通し穴は、必ずお子さまの体格に合わせて調節してください。誤った位置でのご使用は事故などの際、十分な効果を発揮せず、大変危険です。

肩ハーネス通し穴の変更方法

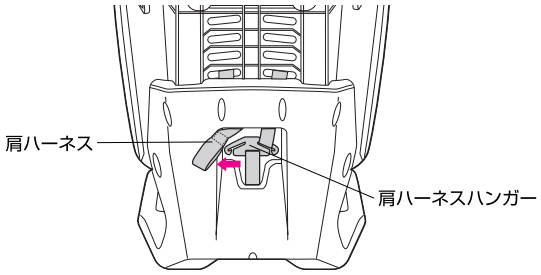
1 リクライニングを1段目にし、本体の背面が見えるようにする。（リクライニングの操作方法→P.16）



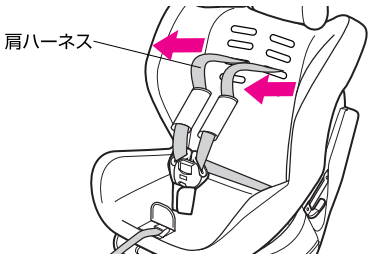
2 アジャストカバーをめくり、アジャストレバーを上げながら肩ハーネスを一杯までゆるめる。



3 肩ハーネスハンガーから肩ハーネスを外す。



4 シート正面から肩ハーネスを引き抜きます。



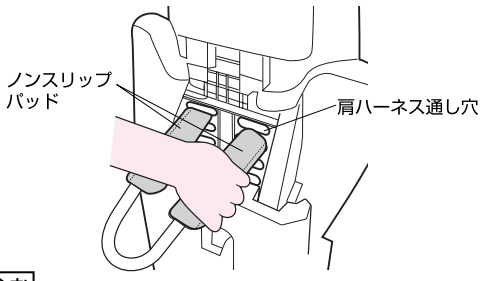
6. チャイルドスタイルでの使用方法

使用前の準備

肩ハーネス通し穴の変更方法

チャイルドスタイルでは、ノンスリップパッドを使用します。

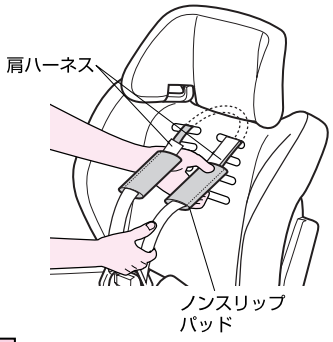
5 本体の背面側から適正な肩ハーネス通し穴にノンスリップパッドを差し込む。
（適正な肩ハーネス通し穴の選び方→P.38）



参考

ノンスリップパッドは凹凸面が下を向くように肩ハーネス通し穴に差し込んでください。

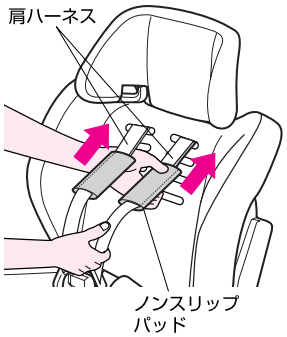
6 本体前面より、ノンスリップパッドに肩ハーネスを通す。



警告

ノンスリップパッドはお子さまを座らせた時、本体裏側にまわしているベルトに、たるみがなくなるまで前に引き出してください。

7 ノンスリップパッドを通した肩ハーネス通し穴に、
肩ハーネスを通す。
（適正な肩ハーネス通し穴の選びかた→P.36）



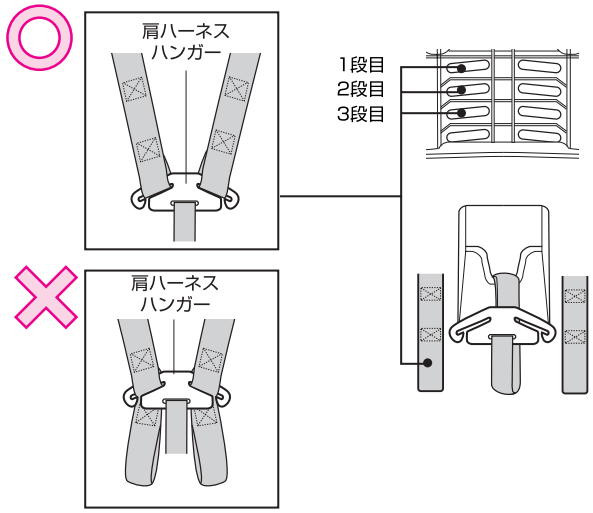
40 6. チャイルドスタイルでの使用方法

使用前の準備

肩ハーネス通し穴の変更方法

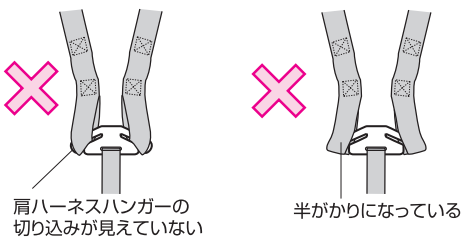
8 肩ハーネスハンガーに肩ハーネスをかける。
肩ハーネス通し穴と肩ハーネスの取付位置は図のようになります。

チャイルドスタイル（体重10kg以上　前向き）



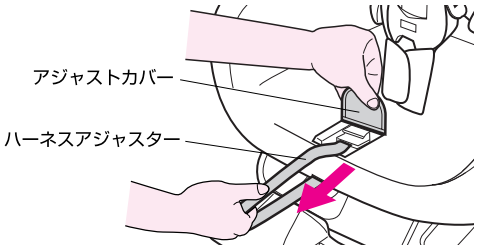
⚠警告

- 肩ハーネスは肩ハーネスハンガーの切り込みが見えるように正しくかけてください。正しくかけないと、肩ハーネスが外れるおそれがあります。
- 肩ハーネスが半がかりにならないようにしてください。



- 肩ハーネスにねじれがないようにしてください。
- 肩ハーネスハンガーは必ず台座の内側に収納してください。

9 アジャストカバーをめくり、ハーネスアジャスターを引く。

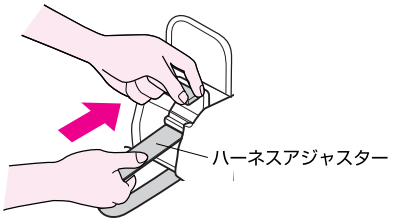


参考

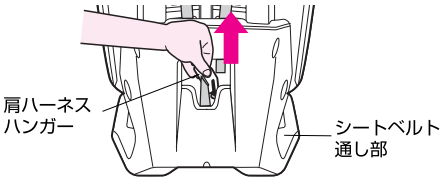
肩ハーネスハンガーに肩ハーネスをかけない状態でハーネスアジャスターを引かないでください。肩ハーネスハンガーが奥に入り込んでしまいます。

肩ハーネスハンガーが奥に入り込んでしまった時

1 アジャストレバーを上げたまま、ハーネスアジャスターを手で少しずつ中に送り込みます。



2 シート背面から手を入れ肩ハーネスハンガーを引き出します。



参考

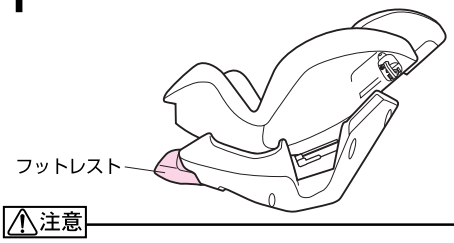
シートベルト通し部から手を入れて引き出す方法もあります。

42 6. チャイルドスタイルでの使用方法

1.取付け前の準備

※車に取付ける前に、車のバックルの解除ボタンが操作できるか確認してください。

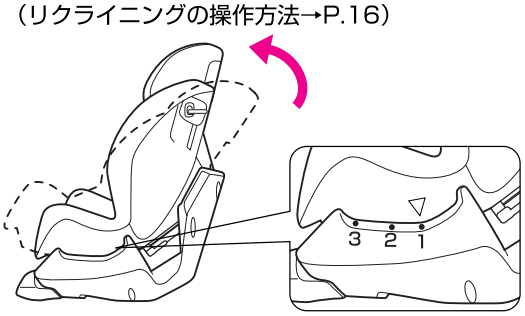
1 フットレストを前にします。（→P.17参照）



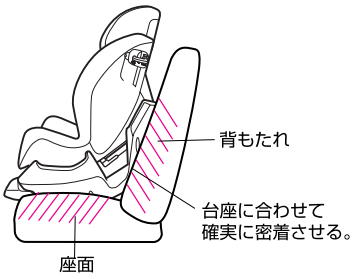
注意

フットレストを動かす際フットレストと台座の間に指をはさまないよう注意してください。

2 本体のリクライニングを1段目にする。（リクライニングの操作方法→P.16）



3 車の座席に前向きの状態で置き、台座が車の座席の背もたれと座面に確実に密着するように置く。

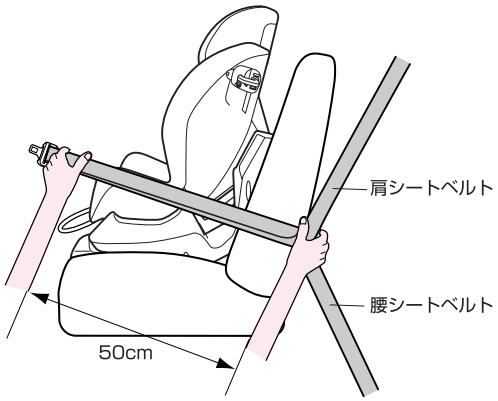


参考

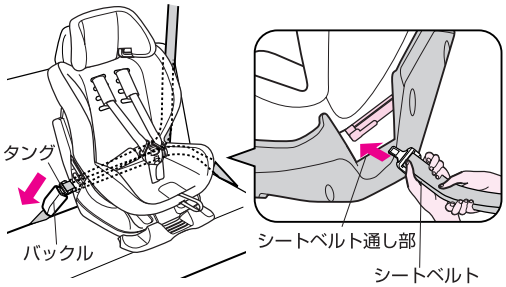
- 車の座席がリクライニングできる場合には、台座が背もたれと密着するように、リクライニングを調節してください。
- 車のシートのヘッドレストが本体に当たり密着できない場合は、車のシートのヘッドレストを取り外してください。

2.シートベルトの取付け

4 シートベルトを引き出し、腰シートベルトと肩シートベルトを50cm程度重ね合わせる。

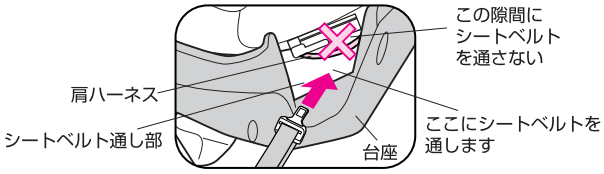


5 重ね合わせたシートベルトをシートベルト通し部に通し、反対側へ引き出し、タングをバックルに「カチッ」と音がするまで確実に差し込む。



⚠警告

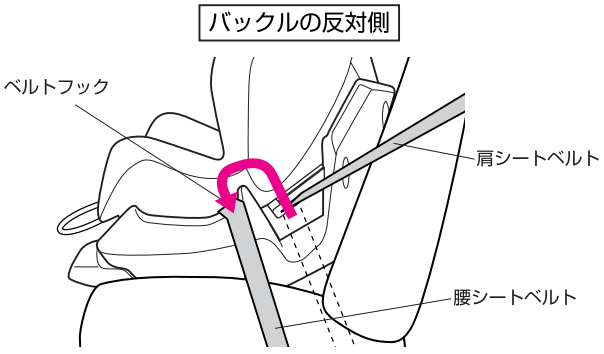
シートベルト通し部の中の肩ハーネスがたるんでいる場合は、ハーネスアジャスターをいっぱいまで引っ張ってください。肩ハーネスがたるんだ状態でシートベルト通し部にシートベルトを通すと通しづらく、誤った通し方をしてしまう可能性があります。



6. チャイルドスタイルでの使用方法

2.シートベルトの取付け

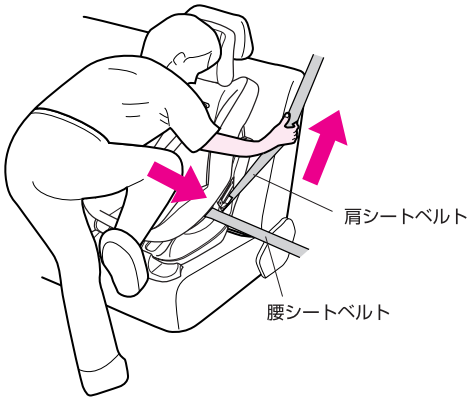
6 バックルと反対側の腰シートベルトを、ベルトフックにかける。



☜参考

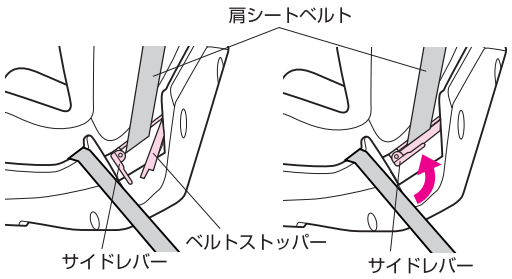
腰シートベルトがベルトフックにかけにくい場合は、肩シートベルトをシートベルトのバックル側へ送り込むと腰シートベルトをベルトフックにかけやすくなります。

7 チャイルドシートの上にのって肩シートベルトを引っ張り、腰シートベルトのたるみをなくす。

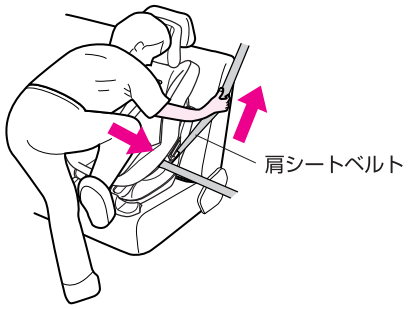


3.シートベルトの締め付け

8 ベルトストッパーに肩シートベルトを挟み
サイドレバーをしっかりとロックする。



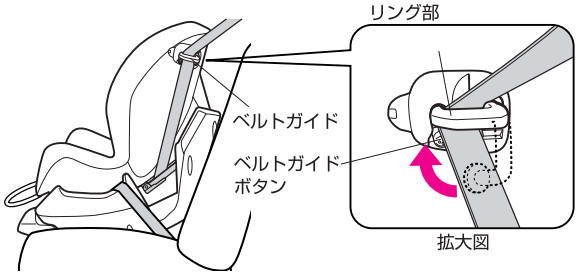
9 チャイルドシートを下へ押し付けながら、ベルトに
たるみやゆるみがなくなるまで肩シートベルトを
強く引っ張る。

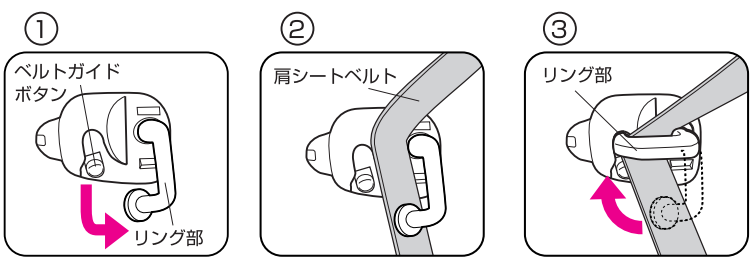


46 6. チャイルドスタイルでの使用方法

3.シートベルトの締め付け

10 下図 ① から ③ のようにベルトガイドボタンを押し
ながら、リング部を下に下げ、肩シートベルトを
ベルトガイドに通し、リング部を上に上げ、しっか
りとロックする。





⚠警告

- 肩シートベルトはねじれのないように、ベルトストッパーにしっかりと挟み込んでください。
- サイドレバーを確実に上げてロックしてください。
- ベルトガイドのリング部を確実にロックしてください。

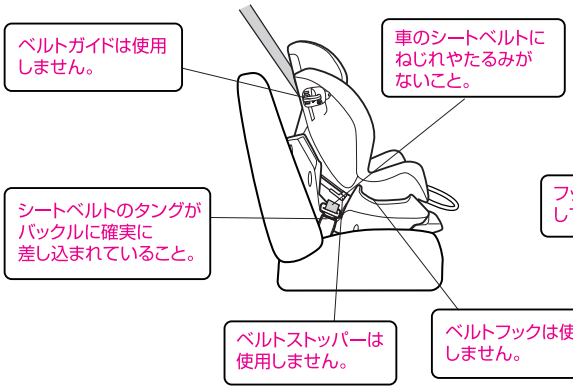
⚠注意

- バックル側のベルトストッパー・ベルトフック・ベルトガイドは使用しないでください。
- サイドレバーにシートベルトを引っ掛けないでください。
- 車に取り付ける前に、車のバックルの解除ボタンが操作できるか確認してください。（バックルがシートベルト通し部の奥まで入り込んでしまう場合があります。）

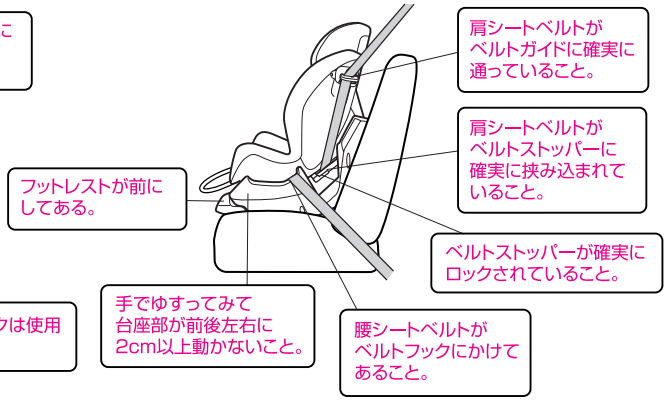
取付後の確認方法

※完成図を見ながら各項目を必ず確認してください。

シートベルトのバックル側から見た時の完成図



反対側の完成図



⚠注意

バックルがベルト通し部の奥まで入り込んで解除できない場合、定規のような長い物を使用するか、シート本体のカバーとクッションをめくり、本体内側のクッション固定穴、から手を入れてバックルを解除してください。

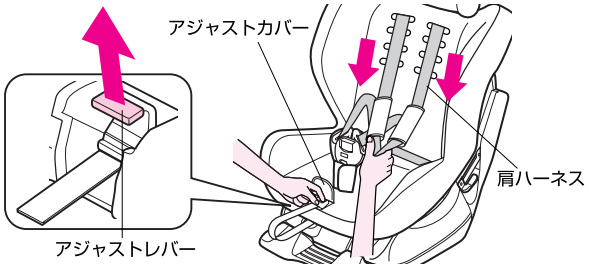
参考

●完成図のように取付けられていない場合は、初めから取付け直してください。
●イラストは後席左側に取付けをしたものです。

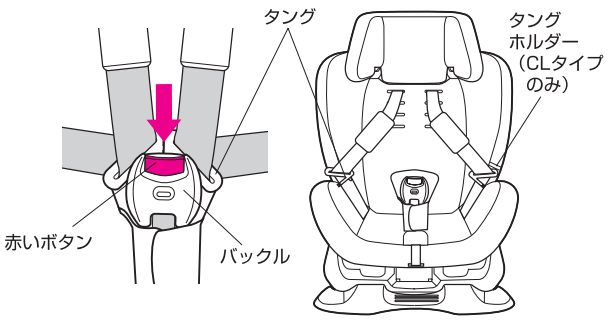
48 6. チャイルドスタイルでの使用方法

お子さまの乗せかた

1 アジャストレバーを上げながら肩ハーネスを引っぱりゆるめる。



2 バックルの赤いボタンを下に押し、タングを外す。



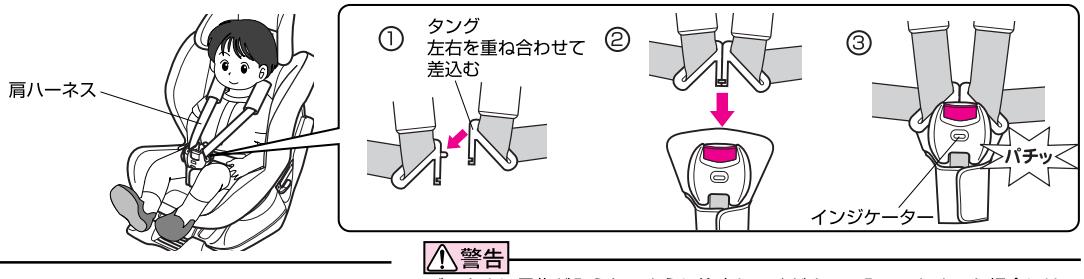
参考

はずしたタングは両サイドにあるタングホルダーにかけておくと、お子さまの乗せ降ろしが楽になります。(CLタイプのみ)

3 お子さまを適正な位置に乗せる。

シート奥まで深く座るように
お子さまを乗せてください。

4 お子さまをシートに座らせて腕を肩ハーネスに通し、左右のタングを合わせバックルに差込む。
インジケーターが緑になっていることを確認する。



参考

タングをかさね合わせないと、バックルに差込めません。

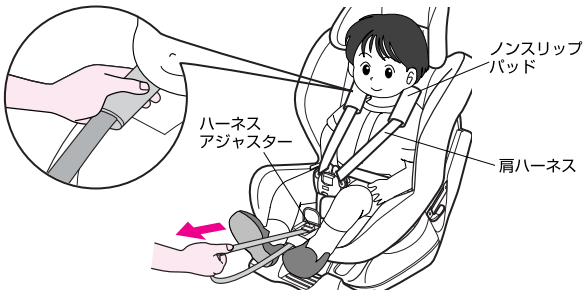
警告

バックルに異物が入らないように注意してください。入ってしまった場合には、そのまま使用せず本書記載のサービスセンターにお問い合わせください。
（預かり修理扱いとなります。）

6. チャイルドスタイルでの使用方法

お子さまの乗せかた

5 お子さまの胸部と肩ハーネスの隙間に大人の指が1～2本入る程度にハーネスアジャスターを引く。

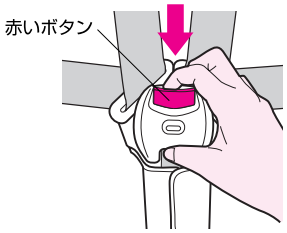


警告

- 肩ハーネスにねじれやたるみがないか、腰ハーネスは骨盤がしっかり拘束されているか確認してください。
- タングがバックルに差込まれてロックされているか確認してください。
- ノンスリップパッドはお子さまを座らせた時、本体裏側にまわしているベルトに、たるみがなくなるまで前に引き出してください。

お子さまの降ろしかた

1 バックルの赤いボタンを下に押し、タングをバックルから外す。



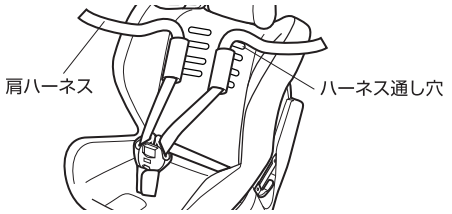
7. ジュニアスタイルでの使用方法 51

15kg以上25kg以下のお子さまの場合、チャイルドシートのハーネスは使用せず、車のシートベルトで直接お子さまを拘束します。

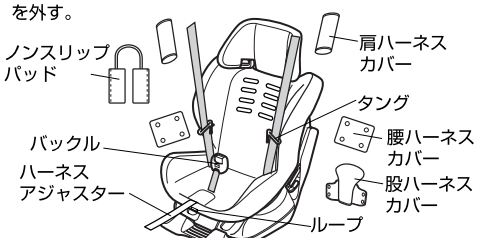
使用前の準備

ハーネスの収納方法、肩ベルトガイドの準備

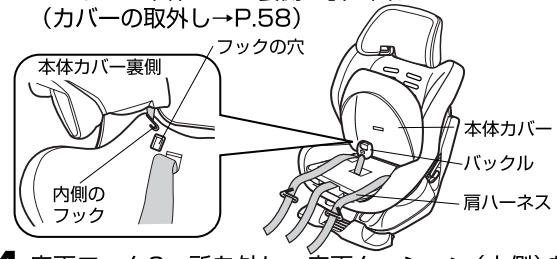
1 本体のリクライニングを1段目にし、肩ハーネスを肩ハーネスハンガーから外し、引き出す。
（肩ハーネスの外し方→P.37）



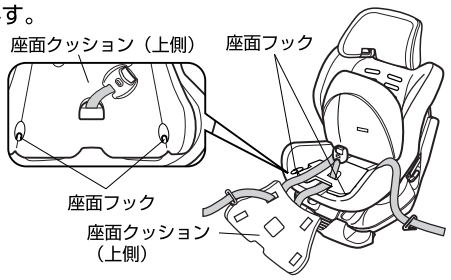
2 肩ハーネスカバー、腰ハーネスカバー（CLタイプのみ）、股ハーネスカバーを取り外す。タングをバックルから外す。※チャイルドスタイルからの場合ノンスリップパッドを外す。



3 本体のカバー座面部分のフックを取外しめくり上げ、カバー内側にあるフックを取外し、バックル及び肩ハーネスを本体カバー裏側に引き出す。
（カバーの取外し→P.58）



4 座面フック2ヶ所を外し、座面クッション（上側）を外す。

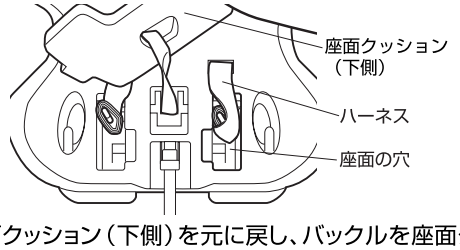


52 7. ジュニアスタイルでの使用方法

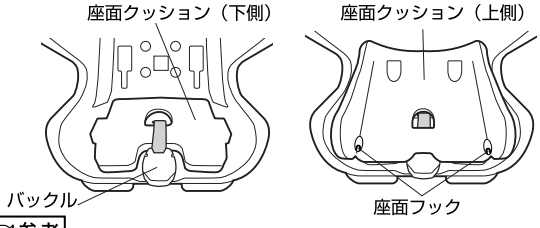
使用前の準備

ハーネスの収納方法、肩ベルトガイドの準備

5 座面クッション（下側）をめくり、タングにハーネスを巻きつけて、座面の穴に入れる。



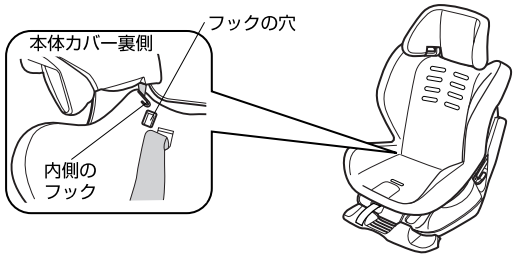
6 座面クッション（下側）を元に戻し、バックルを座面クッション（下側）の手前に置く。その上から座面クッション（上側）をのせ、左右2ヶ所の座面フックでとめる。



参考

座面クッション（上側）は座面フックに軽くかかる程度で問題ありません。

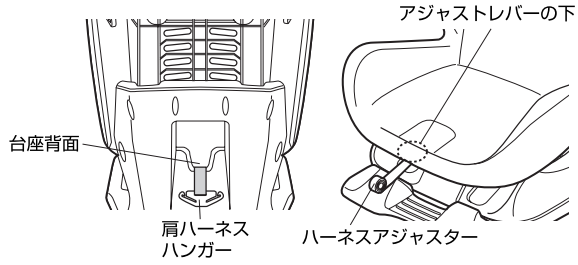
7 カバー内側のフックをとめ、本体カバー座面部分をかぶせ、外側フックでとめる。



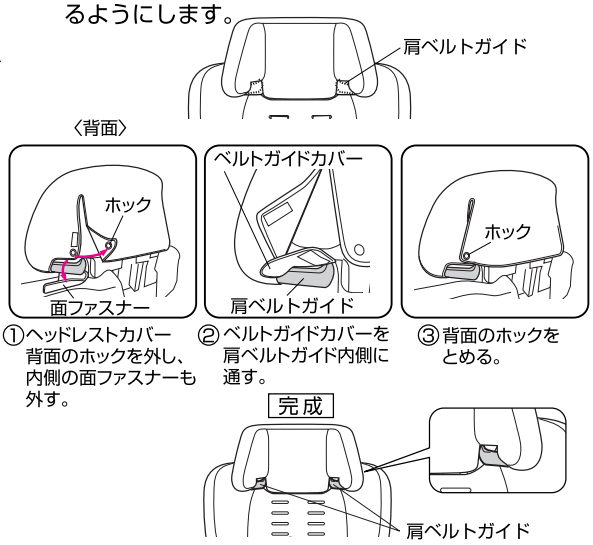
注意

リクライニングを1段目以外で作業しますと、本体カバー内側のフックが間違った穴に入ってしまう場合があり、リクライニングできなくなるおそれがあります。

8 リクライニングを3段目にし、肩ハーネスハンガーを台座背面の溝に引っかけハーネスアジャスターをいっぱいまで引っ張る。あまったハーネスアジャスターは、巻いてアジャストレバーの下に収納する。



9 ご購入時は肩ベルトガイドにカバーがかかった状態になっています。ジュニアスタイルではカバーを肩ベルトガイドの内側に通し、肩ベルトガイドが見えるようにします。



54 7. ジュニアスタイルでの使用方法

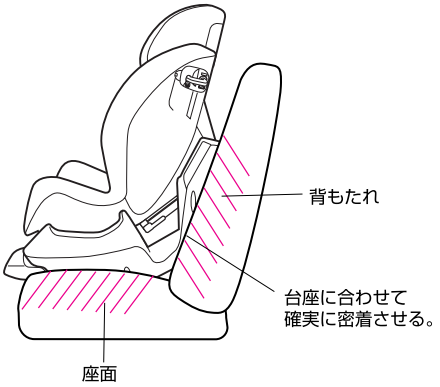
車に取付ける

1 フットレストを前にします。

⚠注意

フットレストを動かす際フットレストと台座の間に指をはさまないよう注意してください。

2 車の座席に前向きの状態で置き、台座が車の座席の背もたれと座面に確実に密着するように置く。



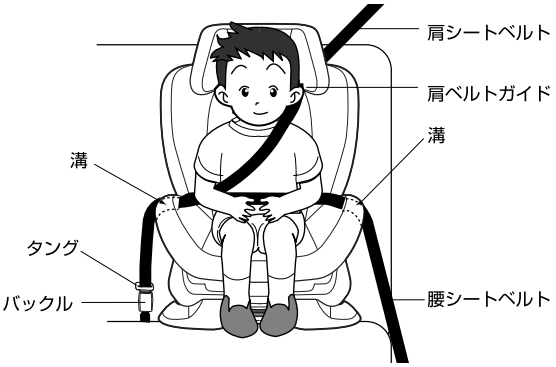
参考

- 車の座席がリクライニングできる場合には、台座が背もたれと密着するように、リクライニングを調節してください。
- 車のシートのヘッドレストが本体に当たり密着できない場合は、車のシートのヘッドレストを取り外してください。

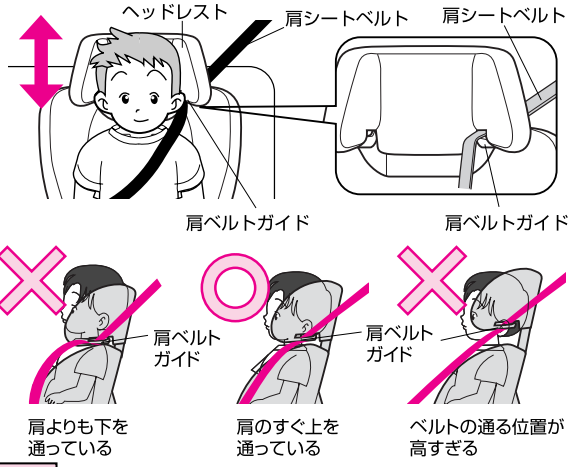
お子さまの乗せかた

1 車のバックルボタンを押してシートベルトを外す。

2 お子さまを座面中央に深く座らせ本体両側の溝に腰シートベルトをかけ、タングをバックルに「カチッ」と音がするまで確実に差込む。



3 肩ベルトガイドに肩シートベルトを通す。
お子さまの肩のすぐ上を肩シートベルトが通るようにヘッドレストの高さを調節する。
（ヘッドレストの操作方法→P.17）



⚠警告

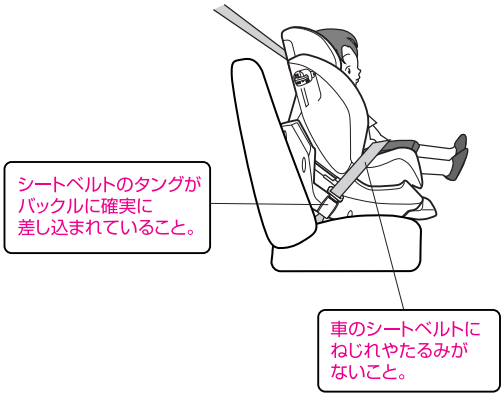
肩ベルトガイドの位置はお子さまを座らせたときに、肩シートベルトがお子さまのすぐ上を通る位置が最適です。
お子さまの首に肩シートベルトがかかっていないことを確認してください。

7. ジュニアスタイルでの使用方法

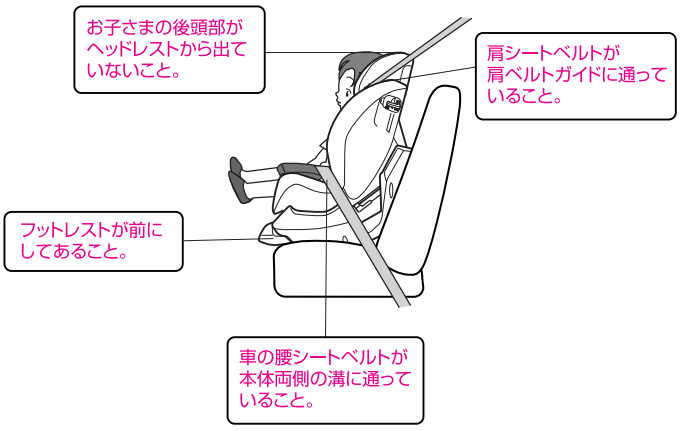
取付後の確認方法

※完成図を見ながら各項目を必ず確認してください。

シートベルトのバックル側から見た時の完成図



反対側の完成図



MEMO

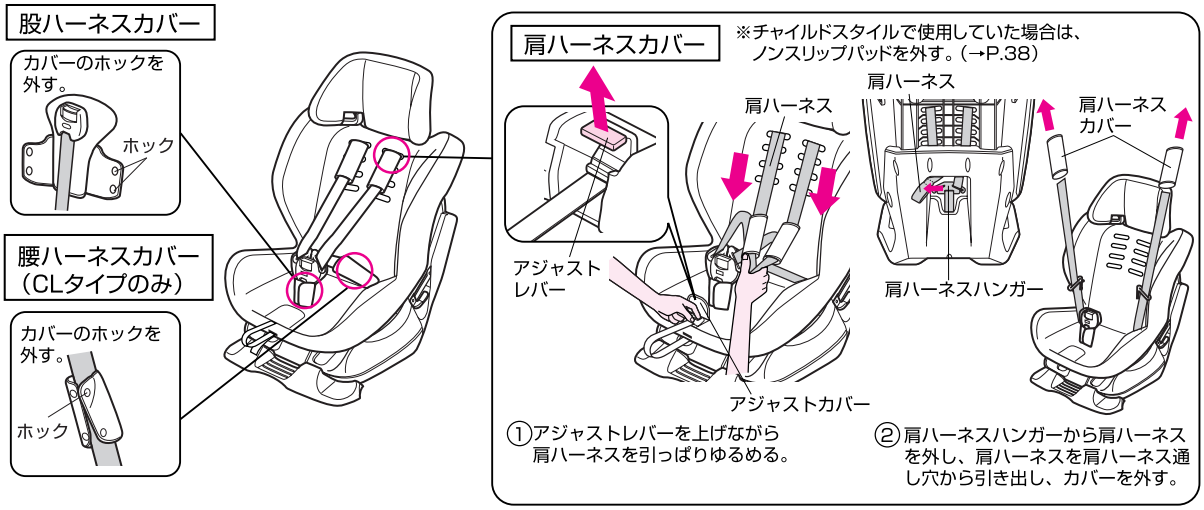
58 8．お手入れのしかた

カバーの取外し

●リクライニングを1段目にします。
●本体カバーを外す前にタングをバックルから外してください。

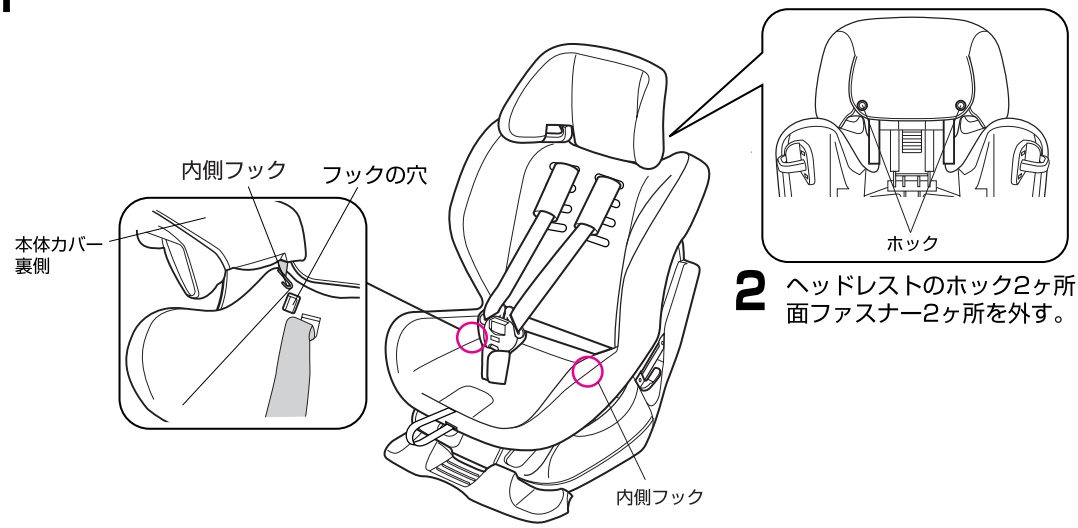
参考

本体カバー及び肩ハーネスカバーを外すには肩ハーネスを外す必要があります。



本体カバー

1 外側フック、内側フックを外す。



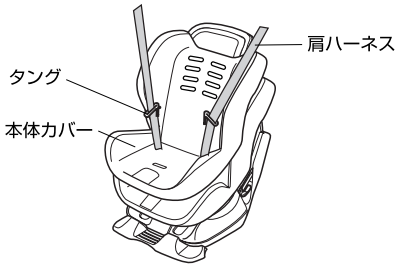
2 ヘッドレストのホック2ヶ所と
面ファスナー2ヶ所を外す。

60 8. お手入れのしかた

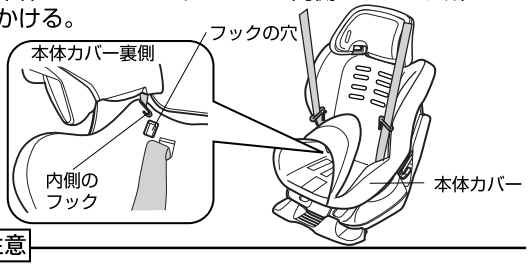
カバーの取付け

本体カバー

1 本体カバーに肩ハーネスとタングを通す。



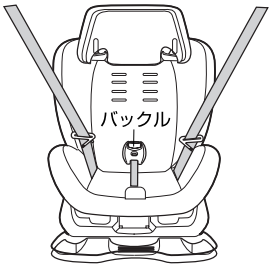
2 本体カバーをシートにかぶせ内側フック2ヶ所を
かける。



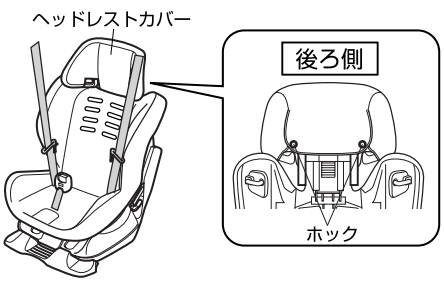
⚠注意

リクライニングを1段目以外で作業しますと、本体カバー内側のフック
が間違った穴に入ってしまう場合がありリクライニングできなくなる
おそれがあります。

3 本体カバーにバックルを通し、外側フックをかける。



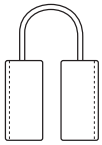
4 ヘッドレストにカバーをかぶせ、面ファスナー2ヶ
所とホック2ヶ所を取付ける。



肩ハーネスカバー

ハーネスにねじれがないように肩ハーネスカバーを通す。

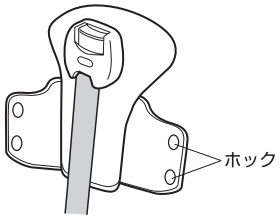
チャイルドスタイルで使用する場合はノンスリップパッドを通す。（→P.38）



ノンスリップパッド

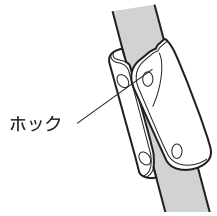
股ハーネスカバー

カバーのホックを取付ける。

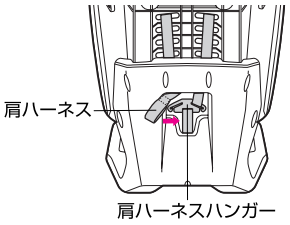


腰ハーネスカバー （CLタイプのみ）

カバーのホックを取付ける。



5 すべてのカバーを取付けたら肩ハーネスを適正な肩ハーネス通し穴に通し、肩ハーネスハンガーに肩ハーネスをかける。



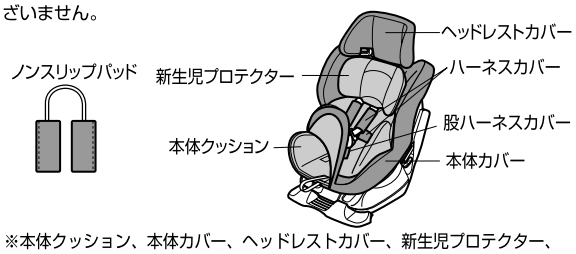
62 6. お手入れのしかた・保管・廃棄方法

洗濯のしかた

洗濯上の注意	
手洗イ 40 中性	40℃以下の液温で手洗いしてください。
塩素	塩素系漂白剤による漂白はできません。
低	アイロンは低温であて布をして、表面からかけてください。
ドライ	ドライクリーニングはしないでください。
	ねじり絞りは避けてください。
	形をととのえてから陰干しし、よく乾かしてください。

参考

本品はクッション性能向上のため、ウレタンフォームを使用しています。ウレタンフォームの特性上、変色する場合がありますが、ご使用上の問題はございません。



※本体クッション、本体カバー、ヘッドレストカバー、新生児プロテクター、ハーネスカバー、股ハーネスカバーの形状・仕様はタイプにより異なります。

⚠警告

本体やハーネスを洗浄する際にシンナーなどの溶剤は使用しないでください。

保管方法

- ヘッドレストは一番下げた状態、フットレストは前向き使用位置にして保管してください。
- 本品に市販の袋等をかぶせて、直射日光の当たらない風通しの良い場所に保管してください。

廃棄方法

- お住まいの各自治体の指示にしたがい、処分、廃棄してください。
- 事故により処分する場合は、本品に「事故品」と油性ペン等で目立つところに記入してください。

参考

事故に遭われた場合は、車のシートベルトにも事故による損傷等がないか、自動車ディーラー等で点検することをおすすめします。

製品仕様

製品サイズ	H710×W500×D550mm ※リクライニング1段目でヘッドレストを一番下げた状態
製品質量	8kg
本体材質	ポリプロピレン （一部ポリアミド）
本体カバー 新生児プロテクター	ポリエステル（表生地）/ ウレタンフォーム（裏生地）
クッション	ポリウレタンフォーム

お問合わせ先

カーメイトサービスセンター

TEL03-5926-1212(代表) FAX03-5926-1218

パソコンから http://www.carmate.co.jp/toi/ 携帯メールから mobile@carmate.co.jp

●仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●本製品の誤った取扱いや改造した場合での事故について、当社はその責任を一切負いません。

株式会社カーメイト
本社/〒171-0051 東京都豊島区長崎5-33-11

保　証　書

本証書は、下記の保証規定に基づいて無料で修理することをお約束するものです。ご購入日から保証期間中に製品の故障が生じた場合は、本証書を当社サービスセンターまたはご購入の販売店にご提示の上、お問合わせください。

〈保証規定〉 記

1. 保証期間内（ご購入日より3年間）に正常な使用状態において、万が一故障した場合には無料にて修理いたします。
2. 保証期間内においても次の場合には有料での修理となります。
   A. 樹脂（プラスチック）部品の自然劣化による変色。
   B. 本体の縫製部品の汚れや損傷。
   C. お客様の誤使用、不当な修理や改造による故障および損傷。
   D. ご購入後の輸送・移動・落下等による故障および損傷。
   E. 火災・地震・水害・落雷その他の天災地変による故障および損傷。
   F. 本証書にご購入日・販売店名の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
   G. 本証書のご提示がない場合。
   H. 一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用され故障した場合。
   I. 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費。
3. 一度ご使用になった製品は、原則的にお取り替えできません。
4. 衝突事故など、一度でも強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
5. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理ができないことがあります。
6. 日本国内のみ有効

●ご購入後、ご使用になる前に必ず記入してください。製造番号は台座の背面に記載されております。

商品名	型式指定番号	型式	製造番号	保証期間
エールベベ・ズット3スタイル ずーっとロング	(自)C-2516	CMS008		ご購入日より3年間（但し保証規定による）

お名前	ご購入日　年　月　日
ご住所　〒	TEL.
ご購入店名	住所 TEL.
修理メモ	

ご購入後、お客様名、ご購入日、ご購入店名をただちにご記入願います。
万が一故障が生じました場合は本証書をご提示ください。本証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
この保証書は、本証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。